Book of Enoch

Translated by R.H. Charles, 1917

エノク書

第 1 章

1. エノクの祝福の言葉。彼はこれによって、邪悪で不信心な者すべてが排除される苦難の日に生きる、選ばれた義人たちを祝福した。
2. そして彼はたとえ話を続けて言った。「神によって目を開かれた義人エノクは、天使たちが私に見せてくれた天の聖者の幻を見ました。私は天使たちからすべてを聞き、私が見たとおりに理解しました。しかしそれはこの世代のためではなく、遠い未来の世代のためです。」
3. 選ばれた者たちについて、私は彼らについてたとえ話をしました。聖なる偉大な方がその住まいから出て来られます。
4. そして永遠の神はシナイ山で地上を踏み、その陣営から現れ、その力強い力をもって天の天から現れるであろう。
5. そしてすべての者は恐怖に襲われ、見張りたちは震え上がり、大いなる恐怖と震えが地の果てまで彼らを襲うであろう。
6. 高い山々は揺り動かされ、高い丘は低くされ、炎の前で蝋のように溶ける。
7. そして地は完全に裂け、地にあるものはすべて滅び、すべての人に対して審判が下されるであろう。
8. しかし、義なる者とは平和を結ばれ、選ばれた者を守り、慈悲が彼らに注がれる。そして彼らは皆神に属し、繁栄し、祝福される。そして神は彼ら全てを助け、光が彼らに現れ、彼らと平和を結ばれる。
9. そして見よ！彼は数万の聖徒たちを率いて来る。すべての者に裁きを下し、すべての不敬虔な者を滅ぼすためである。また、すべての肉なる者を、彼らが不敬虔に犯したすべての不敬虔な行いについて、また、不敬虔な罪人たちが彼に対して語ったすべての悪口について、有罪とするためである。

第 2 章

1. 天で起こるすべての事を観察し、それらが軌道を変えないこと、また天にある光がそれぞれ季節に応じて順番に昇り沈むことを観察して、定められた秩序に違反しないことを観察せよ。
2. 地をよく見て、最初から最後までそこで起こることに注意しなさい。それらはなんと変わらぬものか。地上のものは一つも変わらず、神の御業がすべてあなた方に現れていることを。
3. 夏と冬を見よ。全地は水で満たされ、雲と露と雨がその上に降り注ぐ。

第 3 章

冬になると、すべての木が枯れて葉を落としたように見えるのに、14 本の木だけは葉を落とさず、新しい葉が出てくるまで 2 ～ 3 年間、古い葉を残しているのがわかります。

第 4 章

また、夏の日には、太陽が大地よりも高く、その反対側にあるのをよく見なさい。あなた方は太陽の熱のために日陰や隠れ場所を求めるが、大地もまた熱を増して燃え上がり、その熱のために大地や岩の上を歩くこともできない。

第 5 章

1. 木々が緑の葉で覆われ、実を結ぶ様子を観察しなさい。それゆえ、神のすべての業に心を留め、それを知りなさい。そして永遠に生きる神がどのようにしてそれらをそのようになさったかを認識しなさい。
2. そして、神のすべての業は永遠に年ごとに続けられ、彼らが神のために成し遂げるすべての仕事と、彼らの仕事は変わることなく、神が定めたとおりに行われる。
3. そして海と川が同じように、神の戒めに従ってその務めを果たし、それを変えることなく果たすのを見よ。
4. しかし、あなたたちは主の戒めを堅く守らず、背を向け、汚れた口で主の偉大さに逆らって高慢で厳しい言葉を吐いた。ああ、心の硬い者たちよ、あなたたちは平安を得ないであろう。
5. それゆえ、あなたたちは自分の日々を呪い、あなたたちの命の年は消え去り、あなたたちの滅びの年は永遠の呪いの中で増え、あなたたちは慈悲を見いだせないだろう。
6. その日には、あなたたちの名はすべての義人に対して永遠の呪いの言葉となり、呪う者は皆、あなたたちによって呪い、罪人や不敬虔な者は皆、あなたたちによって呪い、不敬虔な者には呪いが下される。

そしてすべての者は喜び、罪の赦しと、あらゆる慈悲と平和と寛容が与えられる。彼らには救いと、良い光が与えられる。あなたたちすべての罪人には救いはなく、あなたたちすべてに呪いが残る。
7. しかし、選ばれた者たちには光と喜びと平和があり、彼らは地を受け継ぐであろう。
8 そのとき、選ばれた者たちには知恵が与えられ、彼らはみな生き、二度と不信心によっても、高慢によっても罪を犯すことはない。しかし、賢い者たちは謙遜である。
9 彼らは再び罪を犯すことはなく、生涯にわたって罪を犯すこともなく、神の怒りや憤りによって死ぬこともなく、その生涯の日数を全うする。彼らの命は平安のうちに増し、喜びの年は増し、永遠の喜びと平安のうちに、生涯にわたって増し加えられる。

第 6 章

1. そして、そのころ人の子らが増えて、彼らには美しくて美しい娘たちが生まれた。
2. そして、天使たち、すなわち天の子たちは、彼らを見て情欲を抱き、互いに言った。「さあ、人間の子らの中から妻を選び、子供をもうけよう。」
3. そして彼らのリーダーであったセムジャザは彼らに言った。「あなたたちはこの行為に本当に同意しないのではないかと心配しています。そうなると、私だけが大きな罪の罰を受けなければならないでしょう。」
4. そこで彼らは皆、彼に答えて言った。「我々は皆、誓いを立て、互いに呪詛を交わして、この計画を放棄せず、このことを実行することを約束しよう。」
5. それから彼らは全員で誓いを立て、それについて相互に呪詛を唱えることで拘束された。
6. そして、彼らは全部で二百人であった。彼らはヤレドの時代にヘルモン山の頂上に降り、そこで互いに誓いを立てて誓約したので、その山をヘルモン山と名付けた。
7. そしてこれらは彼らの指導者の名前です：セミアザズ、彼らの指導者、アラキバ、ラメル、コカビエル、タミエル、ラミエル、ダネル、イゼケエル、バラキジャル、アサル、アルマーロス、バタール、アナネル、ザキール、サムサペル、サタレル、トゥレル、ジョムジャエル、サリエル。
8. これらは彼らの十人隊長です。

第 7 章

1. そして、他の者たちも皆、妻をめとり、それぞれが自分のために一人を選び、その妻たちのもとに行き、身を汚し、呪文やまじない、根の切り方などを教え、植物に詳しいようにした。
2. そして彼女たちは妊娠し、身長三千エルの巨人を産んだ。
3. 人々の獲得物をすべて消費し、人々がもはやそれを維持できなくなったとき、
4. 巨人たちは彼らに襲い掛かり、人類を食い尽くしました。
5. そして彼らは鳥、獣、爬虫類、魚に対して罪を犯し、互いの肉を食い、血を飲むようになった。
6. そのとき、地は不法な者たちを非難した。

第 8 章

1. そしてアザゼルは人々に剣、ナイフ、盾、胸当ての作り方を教え、また地球上の金属とそれを加工する技術、腕輪、装飾品、アンチモンの使用、まぶたの装飾、あらゆる種類の高価な宝石、あらゆる着色料についても人々に知らせた。
2. そして、多くの不敬虔が生じ、彼らは淫行を犯し、惑わされ、あらゆる道において堕落した。セムジャザは呪文と根挿しを教え、アルマロスは呪文の解法を教え、バラキジャルは占星術を教え、コカベルは星座を、エゼケエルは雲の知識を、アラキエルは地の兆候を、シャムシエルは太陽の兆候を、サリエルは月の運行を教えた。そして、人々が滅びる時、彼らは叫び、その叫びは天にまで届いた。

第 9 章

1. そのとき、ミカエル、ウリエル、ラファエル、ガブリエルは天から見下ろして、地上に多くの血が流され、あらゆる不法が地上で行われているのを見た。
2. そして彼らは互いに言った。「住む者もないこの地から、彼らの叫び声が天の門にまで響き渡っている。」
3. そして今、天の聖なる者たちよ、あなたたちに対して、人々の魂は訴えを起こしてこう言っている。「いと高き方の前に私たちの訴えを持ち出してください。」
4. そして彼らは永遠の主に言った。「万主の主、神々の神、王の王、永遠の神よ、あなたの栄光の王座は代々限りなく続き、あなたの御名は永遠に聖にして栄光に満ち、祝福されます。」
5. あなたはすべてのものを創造し、すべてのものを支配する力を持っておられます。すべてのものはあなたの目に裸で開かれており、あなたはすべてのものを見ておられ、何物もあなたから隠れることはできません。
6. あなたはアザゼルが何をしたか見ている。彼は地上のあらゆる不義を教え、人々が学ぼうと努めていた、天に保存されていた永遠の秘密を明らかにしたのだ。
7. そしてセムジャーザには、あなたが仲間たちを統治する権威を与えました。
8. そして彼らは地上の人の娘たちのところに行き、女たちと寝て、身を汚し、あらゆる罪を彼女たちに明らかにした。

9. そして女たちは巨人を産み、それによって全地は血と不義で満たされた。
10. そして今、見よ、死んだ人々の魂は泣き叫び、天国の門に訴えかけ、その嘆きは天にまで届いている。そして、地上で行われている不法行為のせいで、その嘆きは止むことがない。
11. あなたは、すべての事が起こる前にそれを知っておられます。あなたはこれらの事を見て、それを許されます。そして、これらの事に関して私たちが彼らに何をすべきかを、あなたは私たちにおっしゃいません。」

第 10 章

1. すると、いと高き方、聖なる偉大な方が言われ、ウリエルをレメクの子のもとに遣わしてこう言った。
2. ノアのところへ行き、私の名によって「身を隠せ」と言い、近づいている終わりを彼に告げなさい。全地は滅ぼされ、全地に大洪水が起こり、そこにあるすべてのものが滅ぼされるであろう。
3. そして今、彼に指示を与えて、彼が逃れ、彼の子孫が世界のすべての世代にわたって保存されるようにしなさい。」
4. そして主は再びラファエルに言われた。「アザゼルの手足を縛り、暗闇の中に投げ入れよ。そしてドゥダルの砂漠に穴を開け、そこに彼を投げ入れよ。」
5. 彼の上に荒く尖った岩を置き、彼を暗闇で覆い、彼がそこに永遠に留まるようにし、光が見えないように彼の顔を覆いなさい。
6. そして、大いなる審判の日に、彼は火に投げ込まれる。そして、天使たちが堕落させた大地を癒し、大地の癒しを宣言する。それは、彼らが疫病を治し、見張りたちが明らかにし、その子らに教えたすべての秘密によって、すべての人の子らが滅びることがないようにするためである。
8. そして、アザゼルが教えた行いによって、全地は堕落した。すべての罪は彼に帰せられる。
9. そして主はガブリエルにこう仰せられた。「私生児と不道徳な者と姦淫の子らに向かって進軍せよ。姦淫の子らと見張りの子らを人々の中から滅ぼし、彼らを出撃させよ。彼らを互いに戦わせ、戦いで互いに滅ぼし合わせよ。彼らには長く生きる日はないであろう。」
10. そして彼ら、すなわち彼らの父祖たちがあなたに求めるどんな願いも、彼らの父祖たちに代わって聞き入れられることはない。なぜなら彼らは永遠の命を望み、それぞれが五百年生きることを望んでいるからである。
11. そして主はミカエルに言われた。「行って、女たちと交わり、あらゆる汚れによって身を汚したセムヤーザとその仲間たちを縛りなさい。
12. そして彼らの息子たちが互いに殺し合い、彼らが愛する者たちの滅びを見たとき、彼らを地の谷間で七十世代にわたって縛り付け、彼らの審判と終焉の日まで、永遠の審判が完了するまで。
13. その日、彼らは火の深淵に引き渡され、永遠に責め苦と牢獄に閉じ込められるであろう。
14. そして、罪に定められて滅ぼされる者は、それ以降、すべての世代の終わりまで彼らと結び付けられるであろう。
15. そして、罪人たちの霊と監視者たちの子孫を、すべて滅ぼせ。彼らは人類に不当な行為をしたからである。
16. 地上からすべての悪を滅ぼし、すべての悪行を終わらせてください。正義と真実の植物が現れますように。それは祝福となるでしょう。正義と真実の作品は、永遠に真実と喜びの中に植えられます。
17 そしてそのとき、すべての義人は逃れ、何千もの子供をもうけるまで生き、若い日も老年期も平和のうちに終えるであろう。
18 そしてそのとき、全地は正義によって耕され、すべてに木々が植えられ、祝福に満ちるであろう。
19. そして、そこにはあらゆる望ましい木が植えられ、また、そこにはぶどうの木が植えられるであろう。そこに植えられたぶどうの木は豊かに酒を産み、そこに蒔かれたすべての種は一枡ごとに千の実を結び、オリーブの木一枡ごとに油十搾りが実るであろう。
20. そして、あらゆる抑圧と、あらゆる不義と、あらゆる罪と、あらゆる不敬虔から地を清めてください。また、地に生じるすべての汚れを地から滅ぼしてください。
21. そして、すべての人々の子らは義にかなう者となり、すべての国々はわたしを礼拝し、賛美し、すべての者がわたしを拝むであろう。そして、地はあらゆる汚れ、あらゆる罪、あらゆる罰、あらゆる苦痛から清められ、わたしは彼らを二度と世々限りなく地へ送らないであろう。

第 11 章

1. そしてその日、わたしは天にある祝福の倉を開き、それを地上に降ろして人の子らの仕事と労苦に役立てよう。
2. そして、真理と平和は、世のあらゆる日々を通して、また人々のあらゆる世代を通して結び付けられるであろう。

第 12 章

1. これらのことが起こる前、エノクは隠されていました。彼がどこに隠されたのか、どこに住んでいたのか、そして彼に何が起こったのかを、人の子らのうち誰も知りませんでした。
2. 彼の活動は監視者たちと関係があり、彼の日々は聖なる者たちと共にあった。

3. そして私、エノクは威厳の主、永遠の王を祝福していた。すると見よ！見張りたちは私を書記エノクと呼び、こう言った。
4.「正義の書記エノクよ、行って、天の番人たちに告げよ。彼らは聖なる永遠の場所である高天を離れ、女と交わり、地上の子らと同じように妻をめとった。『あなたたちは地上に大きな破壊をもたらした。
5. そして、あなたたちは平和も罪の赦しも得られないであろう。そして彼らは子供たちを喜ばせている。
6. 彼らは愛する者の殺害を目撃し、子供たちの死を嘆き、永遠に嘆願するだろうが、慈悲と平和は得られないだろう。

第 13 章

1. エノクは行って言った。「アザゼルよ、あなたに平安は与えられない。あなたを縛り付ける厳しい判決が下された。
2. あなたが教えた不義のため、またあなたが人々に示した不敬虔と不義と罪のあらゆる行いのせいで、あなたは寛容にも願いも受け入れられないであろう。」
3. そこで私は行って、彼ら全員に話したところ、彼らはみな恐れ、不安と震えに襲われました。
4. そして彼らは、赦しを得られるよう嘆願書を作成し、その嘆願書を天の主の前で読み上げてくれるよう私に懇願した。
5. それ以来、彼らは、裁かれた罪を恥じて、イエスと話すことも、天を仰ぐこともできなくなった。
6. それから私は彼らの嘆願と祈りを、彼らの霊と彼らの行いそれぞれについて、また彼らの赦しと寿命の延長を求める願いについて書き記した。
7. そこで私は出かけて行って、ヘルモンの西の南にあるダンの地のダンの水のほとりに座り、眠りに落ちるまで彼らの嘆願書を読みました。
8. そして見よ、わたしに夢が現れ、幻がわたしに降りかかり、懲罰の幻を見た。そして声が聞こえて、わたしにそれを天の子らに告げて彼らを叱責するように命じた。
9. そして私が目を覚まして彼らのところに行くと、彼らは皆、レバノンとセネセルの間にあるアベルシャイルで顔を覆い、一緒に集まって泣いていました。
10. そして私は、眠っている間に見たすべての幻を彼らの前で語り、正義の言葉を語り、天の番人たちを叱責し始めました。

第 14 章

1. そのビジョンにおける聖なる偉大なる者の命令に従った、正義の言葉と永遠の監視者たちの叱責の書。
2. 私は夢の中で、これから肉の舌と口の息で語るであろうものを見た。それは偉大なる神が人々に与え、彼らがそれを用いて語り、心で理解できるようにしたものである。
3. 神は人間を創造し、知恵の言葉を理解する力を与えたように、わたしも創造し、天の子らである監視者たちを叱責する力を与えた。
4. 私はあなたの願いを書き記したが、私のビジョンでは、あなたの願いは永遠の日々を通して決して聞き入れられることはなく、あなたに対して最終的に裁きが下されたことが示されました。そうです、あなたの願いは聞き入れられないでしょう。
5. そして、今からは永遠にあなた方は天に昇ることはなく、この世の終りまであなた方を地の鎖に縛り付けるという布告が発せられた。
6. そして、あなたたちは以前に、あなたたちの愛する息子たちの滅びを目にし、彼らを喜ばず、彼らはあなたたちの前に剣で倒れるであろう。
7. 彼らのためにあなたがたが祈っても、またあなたがた自身のために祈っても、それは聞き入れられないであろう。たとえあなたがたが泣き、祈り、私が書き記した文書にある言葉をことごとく語ったとしても。
8. そして、そのビジョンは私にこのように示されました。見よ、そのビジョンの中で、雲が私を招き、霧が私を呼び、星と稲妻の軌道が私を速め、急がせ、そのビジョンの中の風が私を飛ばし、私を持ち上げ、天に運んでいったのです。
9. そして私は中に入り、水晶で造られ、炎の舌で囲まれた壁に近づきました。そしてそれは私を怖がらせ始めました。
10. そして私は火の舌の中に入り、水晶で建てられた大きな家に近づきました。家の壁は水晶で作られたモザイク模様の床のようであり、その土台も水晶でした。
11. その天井は星と稲妻の道のようであり、その間には燃えるケルビムがいて、その天は水のように澄んでいた。
12. 燃える火が城壁を取り囲み、城門も火で燃え盛っていた。
13. そして私はその家に入ったが、そこは火のように熱く、氷のように冷たく、そこには人生の喜びはなく、恐怖が私を覆い、震えが私を捕らえた。
14. そして私は震えて震え、顔を地面に打ち付けました。
15. そして私は幻を見た、すると見よ！そこには前のものよりも大きな第二の家があり、その入り口全体が私の前に開かれていた、そしてそれは炎の炎で建てられていた。
16. そして、あらゆる点で、その壮麗さ、壮大さ、広大さは非常に優れていたので、その壮麗さと広大さを私があなた方に説明することはできません。
17. その床は火でできており、その上には稲妻と星の道があり、その天井もまた燃える火であった。
18. そして私は見ていると、そこに高い王座があった。その王座は水晶のようで、その車輪は輝く太陽のようであった。そしてそこにはケルビムの姿があった。

19. そして玉座の下から燃える火の流れが出て来たので、私はそれを見ることはできなかった。
20. そして、大いなる栄光がその上に座し、その衣は太陽よりも明るく輝き、どんな雪よりも白かった。
21. 天使たちはその壮麗さと栄光のゆえに中に入って彼の顔を見ることはできず、またいかなる肉なる者も彼を見ることはできなかった。
22. 燃える火が彼の周囲にあり、大きな火が彼の前に立っていたが、周囲に誰も彼に近づくことができなかった。彼の前には一万の万倍の者が立っていたが、彼には助言者が必要なかった。
23. そして、主に近かった最も聖なる者たちは、夜も去らず、主から離れることもなかった。
24. そのときまで、わたしは震えながら平伏していたが、主は御自身の口でわたしを呼び、「エノクよ、ここに来なさい。わたしの言葉を聞きなさい」と言われた。
25. すると、聖なる者の一人が私のところに来て、私を起こし、私を立ち上がらせて戸口に近づけさせた。私は顔を下に垂れた。

第 15 章

1. そして彼は私に答えて言った、そして私は彼の声を聞いた。「恐れるな、エノクよ、正義の人、正義の書記官よ、ここに近づいて私の声を聞きなさい。
2. そして、あなたを彼らのために執り成しをさせるために遣わした天の番人たちに言いなさい。「あなたは人々のために執り成しをすべきであり、人々があなたのために執り成しをすべきではない。」
3. なぜあなたたちは高く、聖く、永遠の天を離れ、女と寝、人の娘たちと交わり、妻をめとり、地上の子どもたちのようなことをして、巨人を息子としてもうけたのか。
4. あなたがたは聖なる者、霊の者、永遠の命に生きている者であったが、女の血で自らを汚し、肉の血で子をもうけ、人の子として血肉を欲しがり、死んで滅びる者たちもそうであるように。
5. それゆえ、わたしは彼らに妻を与え、彼女たちが妊娠し、彼女たちによって子供をもうけるようにした。こうして、地上で彼らに何一つ欠けることがないようにするためである。
6. しかし、あなた方は以前、霊的な者であり、永遠の命に生き、世のあらゆる世代にわたって不滅であったのです。
7. それゆえ、わたしはあなたたちに妻を任命しませんでした。天の霊の者たちは天に住まうからです。
8. そして今、霊と肉から生み出された巨人は、地上では悪霊と呼ばれ、地上に彼らの住まいがあるでしょう。
9. 悪霊は彼らの体から発生しました。彼らは人間から生まれたため、聖なる監視者から始まり、最初の起源があります。彼らは地上で悪霊となり、悪霊と呼ばれるでしょう。
10. 天の霊たちは天に住み、地上に生まれた地の霊たちは地上に住みます。
11. 巨人の霊たちは、地上に災いをもたらし、抑圧し、破壊し、攻撃し、戦いを挑み、破壊の業を働かせ、混乱を引き起こす。彼らは食物を摂取せず、飢えと渇きに苦しみ、人々を苦しめる。そして、これらの霊たちは、彼らから出た者たちであるがゆえに、人の子らと女たちに対して立ち上がるであろう。

第 16 章

1. 巨人の虐殺と破壊と死の日から、霊魂は出て行って、審判を受けることなくその肉の魂を破壊するであろう。このようにして、彼らは、時代が完成する終末の日まで破壊し続けるであろう。その終末の日に、監視者と不信心者に対する時代は、まさに完全に完成されるであろう。
2. そして今、あなたを彼らのために執り成しをさせるために遣わした、以前天にいた監視者たちにこう言いなさい。
3. 「あなたは天にいたが、すべての奥義はまだあなたに啓示されていなかった。あなたはむなしい奥義を知っていたが、それを頑なな心で女たちに知らせた。そして、これらの奥義によって、男も女も地上で多くの悪を行っている。」
4. だから彼らにこう言いなさい。「あなたたちには平安がない。」

第 17 章

1. そして彼らは私を連れてある場所に連れて行きました。そこにいた人々は燃える火のようで、彼らが望むと人間の姿で現れました。
2. そして彼らは私を暗闇の場所、頂上が天に届く山に連れて行った。
3. そして私は、光の所、星と雷の宝庫、そして深淵の所を見た。そこには燃える弓と矢と矢筒、燃える剣、そしてあらゆる稲妻があった。
4. そして彼らは私を生ける水と、太陽が沈む西の火に連れて行った。
5. そして私は火の川に来ました。その中で火は水のように流れ、西のほうの大海に流れ出ていました。
6. 私は大河を見て、大河と大いなる暗闇に行き、肉なるものが歩かない場所に行きました。
7. 私は冬の暗闇の山々と、深淵の水がすべて流れ出る場所を見た。
8. 私は地のすべての川の口と深淵の口を見た。

第 18 章

1. 私はすべての風の宝庫を見た。神がそれらによってすべての創造物と地の堅固な基礎を備わらせたのを見た。
2. そして、私は地の礎石を見た。私は地と天の大空を支える四方の風を見た。

3. そして私は、風が天の穹を広げ、天と地の間にとどまっているのを見た。これらは天の柱である。
4. 私は天の風が回転して太陽とすべての星の周りを沈めるのを見ました。
5. わたしは地の上の風が雲を運ぶのを見た。天使たちの道を見た。わたしは地の果てに天の大空を見た。
6. そして私は進み出て、昼も夜も燃える場所を見た。そこには、東に三つ、南に三つ、壮大な岩山が七つあった。
7. そして東側のものは、一つは色石、一つは真珠、一つはヒスイ、南側のものは赤い石でできていた。
8. しかし、中央のものは、神の御座のように天に達し、雪花石膏でできており、御座の頂上はサファイアでした。
9. そして、わたしは燃える火を見た。そして、これらの山々の向こうには、大地の果ての地があり、そこに天が完成していた。
10. そして私は、天からの火の柱がある深い深淵を見た。そして、その間から火の柱が落ちていくのを見た。その火の柱は、高さに向かっても深さに向かっても、同じように測り知れないものであった。
11. そして、その深淵の向こうに、私は、上に天の堅い大地もなく、その下に堅い地盤のない場所を見た。そこには水もなく、鳥もいない、荒涼とした恐ろしい場所だった。
12. 私はそこに七つの星が燃え盛る山々のようであるのを見た。そして私がそれらについて尋ねたところ、
13. 天使は言いました。「ここは天と地の果てです。ここは星々と天の軍勢の牢獄となっています。」
14. そして、火の上を転がる星々は、昇る初めに主の命令に背いた者たちである。定められた時に出てこなかったからである。
15. そして神は彼らに対して怒り、彼らの罪が完遂されるまで一万年の間彼らを縛り付けた。

第 19 章

1. そしてウリエルは私に言った。「ここには、女性と関係を持った天使たちと、その霊が様々な形をとって人類を汚し、悪魔を神として犠牲にするように惑わす者たちが立つだろう。彼らは、裁かれて絶滅させられる大審判の日まで、ここに立つだろう。」
2. また、迷った天使たちのうちの女たちもセイレーンとなるであろう。』
3. そして私、エノクだけが、すべてのものの終わりを幻で見た。そして誰も、私が見たものを見ることはないだろう。

第 20 章

1. これらは見守る聖なる天使たちの名前である。
2. ウリエルは、世界とタルタロスを支配する聖天使の一人です。
3. ラファエルは、人間の霊を支配する聖天使の一人です。
4. 光の世界に対して復讐を果たす聖天使の一人、ラグエル。
5. ミカエルは聖天使の一人であり、人類の大部分と混沌の上に立つ者です。
6. サラケルは、聖なる天使の一人で、霊において罪を犯す霊たちの上に位置づけられています。
7. ガブリエルは、楽園と蛇とケルビムを司る聖天使の一人です。
8. レミエルは、神が復活者たちの上に立てた聖天使の一人です。

第 21 章

1. そして私は混乱した状況へと進みました。
2. そして、わたしはそこで恐ろしいものを見た。わたしが見たのは、上に天もなく、堅固な地でもなく、混沌とした恐ろしい場所だった。
3. そして、わたしはそこで、天の七つの星が、大きな山々のように、火で燃えて結びついているのを見た。
4. そこで私は言いました。「彼らは何の罪で縛られているのか、何のためにここに投げ込まれたのか？」
5. すると、私とともにいて、彼らの上にいた聖なる天使の一人で、ウリエルが言った。「エノクよ、なぜ尋ねるのか、なぜ真実を知りたいのか？」
6. これらは、主の戒めに背いた天の星の数ほどあり、彼らの罪によって定められた時である一万年が満ちるまで、ここに縛られている。」
7. そして、そこから私は別の場所に行きました。そこは以前よりもさらに恐ろしい場所で、私は恐ろしいものを見ました。そこには燃え盛る大きな火があり、その場所は深淵にまで裂け、下降する大きな火の柱で満たされていました。その範囲も大きさも私には見えず、推測することもできませんでした。
8. そこで私は言いました。「この場所はなんと恐ろしいことだろう。見ているとなんと恐ろしいことだろう。」
9. すると、私と共にいた聖なる天使の一人、ウリエルが私に答えて言った。「エノクよ、なぜそんなに恐れおののいているのですか？」私は答えた。「この恐ろしい場所と、苦痛の光景のためです。」
10. そして彼は私に言った。「ここは天使たちの牢獄であり、彼らはここで永遠に閉じ込められるのです。」

第 22 章

1. そして私は別の場所へ行き、彼は西にもう一つの大きくて高い山と硬い岩を見せてくれました。
2. そこには四つの窪みがあり、深く広く、非常に滑らかでした。その窪みはなんと滑らかで、深く暗いことか。

3. すると、私とともにいた聖なる天使の一人であるラファエルが答えて私に言った。
4.「これらの空洞はまさにこの目的のために造られた。すなわち、死者の魂の霊がそこに集まるため、まことに人の子らのすべての魂がここに集まるためである。そしてこれらの場所は、彼らの裁きの日まで、定められた時が来るまで、すなわち彼らに大いなる裁きが下るまで、彼らを受け入れるために造られたのである。」
5. 私は死んだ人々の霊を見た。そして彼らの声が天に響き渡り、訴えかけた。
6. そこで私は、私とともにいた天使ラファエルに尋ねました。「この霊は誰の霊ですか。その声は出て、訴えかけているのですか。」
7. そして彼は私に答えて言った。「これは、兄弟カインが殺したアベルから出た霊である。彼はアベルの子孫が地の面から絶やされ、人類の子孫の中から絶やされるまで、アベルに対して訴訟を起こしている。」
8. そこで私は、それとすべての空洞の場所について尋ねました。「なぜ一つが他の空洞から分離しているのですか？」
9. すると彼は私に答えて言った。「これら三つは、死者の霊を分けるために造られた。そして、義人の霊のためにも、このような区分が設けられ、そこには輝く水の泉がある。」
10. そして、罪人たちが死んで土に埋葬され、生きている間に裁きが執行されなかったときのために、このようなものが作られている。
11. 彼らの魂は、永遠に呪いを唱える者たちが裁きと罰と苦しみを受け、彼らの魂に報いを受ける大いなる日まで、この大いなる苦しみの中に隔離される。そこで主は彼らを永遠に縛り付ける。
12. そして、このような区分は、罪人たちの時代に殺された者たちの霊のために、訴訟を起こし、自分たちの滅びについて告げ口をする者たちのために作られたのである。
13. 義人ではなく罪人、罪を犯した者たちの霊のために、このようなものが造られた。彼らは仲間となる。しかし、彼らの霊は審判の日に殺されることはなく、そこから蘇ることもない。
14. そこで私は栄光の主を祝福して言った。「永遠に支配する正義の主、私の主が祝福されますように。」

第 23 章

1. そこから私は地の果ての西の別の場所へ行きました。
2. そして私は、休むことなく燃え続ける火を見た。それは昼も夜も止まることなく、一定の速さで燃え続けていた。
3. そこで私は尋ねた。「休まないものとは何ですか？」
4. すると、私とともにいた聖なる天使の一人、ラグエルが私に答えて言った。「あなたが見たこの火の流れは、天界のすべての光を迫害する西の火です。」

第 24 章

1. そして、私はそこから地上の別の場所へ行きました。そして彼は私に、昼も夜も燃える火の山脈を見せました。
2. そして私はそこを越えて行き、それぞれが異なった七つの壮大な山々を見た。その岩石は壮大で美しく、全体として壮大で、壮麗な外観と美しい外見をしていた。東に三つの山があり、互いに重なり合っており、南に三つの山があり、互いに重なり合っていた。そして、深く険しい峡谷があったが、どれも互いにつながっていなかった。
3. 第七の山はこれらの山の真ん中にあり、それらよりも高く、王座の座に似ていた。そして、香ばしい木々が王座を取り囲んでいた。
4. そして、彼らの中に、私がこれまで嗅いだことのないような木があった。彼らの中にも、また、それに似た木はなかった。それはあらゆる香りを超える芳香を放ち、その葉も花も木も永遠に枯れることがない。その実は美しく、その実はナツメヤシの実に似ている。
5. そこで私は言いました。「この木はなんと美しく、香りがよく、葉は美しく、花も見た目にとても美しいのだろう。」
6. すると、私とともにいて、彼らの指導者であった、聖なる尊敬すべき天使のひとり、ミカエルが答えました。

第 25 章

1. そして彼は私に言った。「エノクよ、なぜあなたはあの木の香りについて私に尋ねるのか、そしてなぜ真実を知りたいのか？」
2. そこで私はこう答えました。「私はすべてのことを知りたいのですが、特にこの木について知りたいのです。」
3. そして彼は答えて言った。「あなたが見たこの高い山、その頂上が神の玉座のようであるのは、神の玉座である。聖なる偉大なる者、栄光の主、永遠の王が、慈しみをもって地上を訪れるために降りてこられるとき、そこに座るのだ。
4. そして、この香木については、大いなる審判の時まで、いかなる人間も触れることを許されない。その時、主はすべての者に復讐し、すべてを永遠に終焉させる。そして、この木は義なる聖なる者たちに与えられる。
5. その実は選ばれた者たちの食物となり、聖なる場所、永遠の王である主の神殿に移植されるであろう。
6 そのとき、彼らは喜びにあふれて歓喜し、聖所に入り、その香りが彼らの骨にとどまり、あなたの先祖

が生きたように、彼らは地上で長生きするであろう。彼らの時代には、悲しみも、疫病も、苦しみも、災難も彼らに触れることはないであろう。』
7. そこで私は、義人のためにこのようなものを用意し、創造し、彼らに与えると約束した栄光の神、永遠の王を祝福した。

第 26 章

1. そして私はそこから地の真ん中に行き、枝が残っていて花が咲いている木々のある祝福された場所を見ました。
2. そして、私はそこに聖なる山を見ました。その東の山の下には川があり、南に向かって流れていました。
3. そして私は東の方にこれより高いもう一つの山と、その間の深く狭い峡谷を見た。その峡谷にも山の下の小川が流れていた。
4. そしてその西側には、前の山よりも低く、標高の低い別の山があり、その間には深くて乾いた渓谷がありました。そして、3 つの山の端には、もう一つの深くて乾いた渓谷がありました。
5. そして、すべての渓谷は、固い岩でできていて、深くて狭く、そこには木は植えられていなかった。
6. そして私は岩に驚き、渓谷に驚きました。そうです、私は非常に驚きました。

第 27 章

1. そこで私は言いました。「完全に木々で満たされたこの祝福された土地と、その間にあるこの呪われた谷は何の目的があるのですか？」
2. すると、私と共にいた聖なる天使の一人、ウリエルが答えて言った。「この呪われた谷は、永遠に呪われた者たちのためのものだ。ここには、主に逆らって忌まわしい言葉を吐き、主の栄光を軽蔑する呪われた者たちが皆集められる。彼らはここに集められ、ここに裁きの場が設けられる。」
3. 終わりの日に、義人の前で永遠に正しい裁きの光景が彼らに臨むであろう。ここで慈悲深い者は栄光の主、永遠の王を祝福するであろう。
4. 先祖に対する裁きの日に、彼らは神が彼らに与えた運命に応じた慈悲に対して神を祝福するであろう。」
5. そこで私は栄光の主を祝福し、その栄光を現し、栄光をもって主を讃美した。

第 28 章

1. そして私は東の方へ進み、砂漠の山脈の真ん中に入りました。そして私は荒野を見ました。そこは人里離れていて、木々や植物でいっぱいでした。
2. そして上から水が湧き出しました。
3. それは北西に向かって流れている豊富な水路のように急激に進み、あらゆる方向に雲と露を上昇させました。

第 29 章

1. そして私は砂漠の別の場所に行き、この山脈の東に近づきました。
2. そこで私は、乳香と没薬の香りを放つ香木を見ました。その木々もアーモンドの木に似ていました。

第 30 章

1. そして、私はこれらの場所を越えて、はるか東の方へ行き、別の場所、水の満ちた谷を見ました。
2. そこには、マスティックのような香りの良い木のような色の木がありました。
3. そして、それらの谷の両側に、私は香りの良いシナモンの木を見ました。そして、私はそれらを越えて東へ進みました。

第 31 章

1. そして私は他の山々を見た。その中には木立があり、そこからサララとガルバナムと呼ばれるネクターが流れ出ていた。
2. そして、これらの山々の向こうに、地の果ての東にもう一つの山が見えました。そこにはアロエの木があり、すべての木はアーモンドの木のように、葉が茂っていました。
3. そしてそれを燃やすと、どんな芳香よりも甘い香りがした。

第 32 章

1. そして、これらの良い香りの後、私が北の山々の向こうに目を向けると、上等なナルドと香木、シナモンとコショウでいっぱいの七つの山が見えました。
2. そして私はそこからこれらすべての山々の頂上を越えて、はるか地球の東の方へ行き、エリュトライ海の上を通り過ぎてそこから遠く離れて、天使ゾティエルの上を通り過ぎた。
3. そして私は正義の園に到着し、あの木々の向こうに、良い香りのする、大きくてとても美しくて立派な大木がたくさん生えているのを見ました。また、人々が食べて大いなる知恵を知る知恵の木もありました。
4. その木は、もみの木のように高く、葉はイナゴマメの葉のようで、実はぶどうの房のように美しく、その香りは遠くまで届きます。
5. そこで私は言いました。「この木はなんと美しいのだろう、その姿はなんと魅力的なのだろう。」
6. すると、私とともにいた聖天使ラファエルが私に答えて言った。「これは知恵の木である。あなたより先に生まれた、年老いたあなたの父と年老いた母

がそれを食べて知恵を学び、目が開け、自分たちが裸であることを知り、園から追い出されたのである。」

第 33 章

1. そして、そこから私は地の果てまで行き、そこで大きな獣を見たが、それぞれが互いに異なっていた。また、私は鳥も見た目も美しさも声も異なっているのを見た。
2. そして、私はそれらの獣の東に、天が休む地の果てと、天の門が開いているのを見た。
3. そして私は天の星々がどのように出てくるかを見ました。そして私は、それらが出てくる門を数え、それぞれの星について、その数と名前、軌道と位置、時刻と月をすべて書き記しました。私とともにいた聖なる天使ウリエルが私に示してくれたとおりです。
4. 神はすべてのことをわたしに示し、わたしのためにそれを書き記された。また、彼らの名、彼らの律法、彼らの団体をわたしのために書き記された。

第 34 章

1. そして私はそこから北の方向、地の果てまで行き、そこで全地の果てに偉大で栄光に満ちた装置を見た。
2. そして私は天に三つの門が開いているのを見た。それぞれの門から北風が吹き、それが吹くと寒さ、雹、霜、雪、露、雨が降る。
3. そして、一つの門からは良いことを吹くが、他の二つの門から吹くときは、地上に暴力と苦難をもたらし、暴力的に吹く。

第 35 章

1. そして、そこから私は西の方向、地の果てまで行き、そこで東で見たのと同じ天の門が 3 つ開いているのを見た。門の数も同じで、出口の数も同じだった。

第 36 章

1. そして私はそこから南の地の果てまで行き、そこで天の三つの開いた門を見た。そこから露と雨と風が吹いてくる。
2. そして私はそこから東の天の果てまで行き、そこで天の東側の三つの門が開いていて、その上に小さな門があるのを見た。
3. 天の星々は、これらの小さな門を通過し、示された道を西へと進んでいきます。
4. そして私は見るたびに、常に栄光の主を祝福し、偉大で輝かしい不思議を行われた栄光の主を祝福し続けました。それは、天使や霊や人々にその偉大さを示し、彼らがその御業とそのすべての創造物を讃えるためであり、彼らがその力ある御業を見て、その御手の偉大な御業を讃え、永遠に主を祝福するためでした。

第 37 章

1. 彼が見た第二の幻、それは知恵の幻であり、ヤレドの子エノクが見たものである。ヤレドはマハラレルの子、マハラレルはカイナンの子、カイナンはエノスの子、エノスはセツの子、アダムの子である。
2. そして、これが私が声を上げて地上に住む人々に語った知恵の言葉の始まりである。昔の人々よ、聞きなさい。後から来る人々よ、見なさい。私が霊の主の前で語る聖なる者の言葉を。
3. これらのことを昔の人々にのみ告げるのがよいが、後世の人々に対しても私たちは知恵の始まりを隠さないつもりである。
4. 今日まで、私が自分の洞察力に応じて受けた知恵ほどの知恵は、霊の主によって与えられたことはなく、霊の主の好意に応じて受け、永遠の命という運命を私に与えた。
5. さて、三つのたとえ話がわたしに伝えられたので、わたしは声をあげてそれを地上に住む人々に語った。

第 38 章

1. 第一のたとえ話。義人たちの集会が開かれ、罪人たちがその罪によって裁かれ、地の面から追い払われるとき、
2. そして、義なる者が義人の目の前に現れ、その選ばれた行いが霊の主にかかっているとき、そして地上に住む義人と選ばれた人々に光が現れるとき、罪人たちの住まいはどこにあるのだろうか。霊の主を否定した者たちの安息の地はどこにあるのだろうか。彼らが生まれてこなかったなら、それは彼らにとって良かったことだった。
3. 義人の秘密が明らかにされ、罪人が裁かれ、不信心者が義人と選民の前から追い出されるとき、
4. その時から、地を所有する者たちはもはや力も高貴さも失い、聖なる者の顔を見ることもできなくなる。なぜなら、霊の主が、聖なる者、義なる者、選ばれた者の顔にその光を現させたからである。
5. そのとき、王たちや勇者たちは滅び、正義の聖なる者たちの手に引き渡されるであろう。
6. そしてそれ以降、誰も霊の主から慈悲を求めることはできない。彼らの命は終わっているからだ。

第 39 章

1. そして、その日には、選ばれた聖なる子らが高い天から降臨し、彼らの子孫は人の子らと一つになるであろう。
2. そしてその日々、エノクは熱意と怒りの書物、そして不安と追放の書物を受け取りました。そして、彼らには慈悲は与えられないと、精霊の主は言われます。

3. そしてそのころ、旋風がわたしを地から運び去り、天の果てに落とした。
4. そこで私はもう一つの幻を見た。聖なる者たちの住まいと、義人たちの休息所である。
5. ここに、わたしの目は、彼らが神の義なる天使たちと共に住み、聖なる者たちと共に安息の地にいるのを見た。彼らは人の子らのために嘆願し、執り成しをし、祈った。義は水のように彼らの前に流れ、慈悲は露のように地に注がれた。それは永遠に彼らの間に続く。
6a. そしてその場所で、私の目は正義と信仰の選ばれた者を見た。
7a. そして私は、精霊の主の翼の下にある彼の住まいを見た。
6b. そして、彼の時代には正義が勝ち、義人と選ばれた者たちは永遠に彼の前に無数にいよう。
7b. そして、主の前にいるすべての義人と選民は、燃える光のように強くなり、彼らの口は祝福に満ち、彼らの唇は精霊の主の名を讃える。そして、主の前にある義は決して絶えることがなく、主の前にある正直は決して絶えることがない。
8. わたしはそこに住みたいと願い、わたしの霊はその住まいを慕っていた。そしてそこには以前からわたしの分があった。それは霊たちの主の御前でわたしに関して定められたことであった。
9. そのころ、わたしは祝福と賛美をもって、霊たちの主の名を讃え、ほめたたえた。なぜなら、主は霊たちの主の御心に従って、わたしを祝福と栄光に定められたからである。
10. 長い間、私はその場所を見つめ、神を祝福し、讃えて言った。「神は祝福されています。初めから永遠に祝福されますように。」
11. 神の御前には絶え間ない終わりがある。神は世界が創造される前から、永遠のものと、代々続くものをご存じである。
12. 眠らない者たちはあなたを祝福します。彼らはあなたの栄光の前に立ち、祝福し、賛美し、讃えて言います。「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、精霊の主。彼は地を精霊で満たしておられる。」
13. そして、私の目は、眠らないすべての人々を見た。彼らは主の前に立ち、祝福して言った。「あなたは祝福されますように。主の御名が永遠に祝福されますように。」
14. そして私の顔は変わりました。私はもう何も見ることができなかったからです。

第 40 章

1. そしてその後、私は何千、何万、何万倍もの、数えきれないほどの群衆が精霊の主の前に立っているのを見た。
2. そして、私は霊たちの主の四方に、眠らない者たちとは異なる四つの存在を見た。そして、私はそれらの名前を覚えた。私と一緒にいた天使がそれらの名前を私に知らせ、隠されたものをすべて私に示したからである。
3. そして私は、栄光の主の前で、これら 4 つの存在が賛美の言葉を述べる声を聞いた。
4. 最初の声は永遠に精霊の主を祝福します。
5. そして、私は選ばれた者と、精霊の主に頼る選ばれた者たちを祝福する第二の声を聞いた。
6. そして私が聞いた 3 番目の声は、地上に住む人々のために祈り、執り成しをし、精霊の主の名において嘆願する声でした。
7. そして私は第四の声がサタンたちを撃退し、彼らが霊の主の前に出て地上に住む者たちを告発することを禁じるのを聞いた。
8. その後、私と一緒に行き、隠されたものをすべて私に見せてくれた平和の天使に、私は尋ねました。「私が見て、その言葉を聞き、書き記したこれらの 4 つの存在は誰ですか？」
9. そして彼は私に言った。「第一の者は慈悲深く寛容なミカエルである。第二の者は、人の子らのあらゆる病とあらゆる傷を治す者、ラファエルである。第三の者は、あらゆる力に仕える者、ガブリエルである。第四の者は、永遠の命を受け継ぐ者たちの希望に至る悔い改めを治す者、ファヌエルと呼ばれる。」そしてこれらは、精霊の主の四人の天使であり、私が当時聞いた四つの声である。

第 41 章

1. そしてその後、私は天のすべての秘密と、王国がどのように分割されているか、また人々の行いがどのように天秤にかけられているかを見た。
2. そこで私は選ばれた者たちの住まいと聖なる者たちの住まいを見た。そして私の目は、精霊の主の名を否定するすべての罪人たちがそこから追い出され、引きずり出されていくのを見た。彼らは精霊の主から発せられる罰のために耐えることができなかった。
3. そこで私の目は稲妻と雷鳴の秘密、風の秘密、それらがどのように分かれて地上を吹き抜けるか、雲と露の秘密を見た。そしてそこで私は、それらがその場所でどこから発生し、どこから埃っぽい大地を満たしているかを見た。
4. そして私はそこで、風が分かれて吹き出す閉じた部屋を見た。それは雹と風の部屋、霧と雲の部屋であり、その雲は世界の始まりから地球の上を漂っていた。
5. そして私は太陽と月の部屋を見た。それらがどこから出発し、どこへ戻ってくるのか、それらの栄光ある帰還、そして一方が他方よりも優れていること、それらの堂々とした軌道、そしてそれらが軌道から外れないこと、それらの軌道に何も加えず、そこから何も奪わず、それらが結びついている誓いに従って、互いに忠実であることを見た。

6. そして最初に太陽は出て、精霊の主の命令に従ってその道を進みます。そして彼の名前は永遠に偉大です。
7. その後、私は月の隠れた道と見える道を見た。月は昼も夜もその場所を巡り、精霊たちの主の前で互いに相対する位置を占めていた。彼らは感謝と賛美を捧げ、休むことはなかった。感謝の休息は彼らのためにあるのだ。
8. 太陽は祝福にも呪いにもしばしば変化し、月の軌道は主の名において義人にとっては光であり、罪人にとっては闇である。主は光と闇を区別し、人々の霊を分け、その正義の名において義人の霊を強くした。
9. いかなる天使も妨げることができず、いかなる力も妨げることはできない。神はすべての者のために裁判官を任命し、すべてを御前で裁くからである。

第 42 章

1. 知恵は住むべき場所を見つけられなかったが、天に住まいが与えられた。
2. 知恵は人の子らの中に住まうために出て行ったが、住む場所を見つけられなかった。知恵は自分の場所に戻り、天使たちの中に座した。
3. そして、その部屋から不義が出て行った。彼女は探し求めなかった者を見つけられず、砂漠に降る雨、渇いた地に降る露のように、それらとともに住んだ。

第 43 章

1. そして私は、ほかの稲妻と天の星たちを見た。そして、神がそれらすべてを名前で呼び、それらが神に聞き従うのを見た。
2. そして私は、彼らが光の比率に応じて正しい天秤で量られる様子を見た。私は彼らの空間の広さと、彼らが現れる日と、彼らの回転が稲妻を生み出す様子を見た。また、天使の数に応じて彼らの回転がどうなっているか、そして彼らが互いに忠実でいる様子を見た。
3. そして、私と一緒にいて、隠されたものを私に見せてくれた天使に、私は尋ねました。「これらは何ですか？」
4. そして彼は私に言った。「精霊の主はあなたにそれらの比喩的な意味を示した。これらは地上に住み、永遠に精霊の主の名を信じている聖なる者たちの名前である。」

第 44 章

また、稲妻に関して私が見たもう一つの現象は、いくつかの星が出現して稲妻となり、その新しい形を離れられないというものです。

第 45 章

1. これは、聖なる者たちと霊たちの主の住まいの名を否定する者たちに関する第二のたとえ話である。
2. そして彼らは天に昇ることはなく、また地上に降りることもない。これが、霊の主の名を否定した罪人たちの運命である。彼らはこうして、苦しみと艱難の日のために保存されているのである。
3. その日、わたしの選民は栄光の玉座に座り、彼らの行いを試し、彼らの安息の地は無数となる。彼らはわたしの選民と、わたしの栄光の名を呼び求める者たちを見るとき、魂が強くなるであろう。
4. そのとき、わたしはわたしの選んだ者を彼らの中に住まわせる。そして、わたしは天を変え、それを永遠の祝福と光とする。
5. そして、私は地球を変えて、それを祝福とし、私の選民をそこに住まわせる。しかし、罪人や悪を行う者はそこに足を踏み入れることはできない。
6. わたしは義人たちに平安を与えて満たし、わたしの前に住まわせた。しかし罪人たちには、わたしの裁きが迫っている。わたしは彼らを地上から滅ぼすであろう。

第 46 章

1. そこで私は、若々しい頭を持つ者を見た。その頭は羊毛のように白く、彼とともに別の者がいた。その顔は人間のようで、聖なる天使の一人のように慈悲に満ちていた。
2. そこで私は、私と共に行き、すべての隠されたものを私に見せてくれた天使に、あの人の子について尋ねた。「彼は何者か、どこから来たのか、なぜ日の頭と共に行ったのか。」すると天使は答えて私に言った。「これは正義を持つ人の子である。彼と共に正義が宿り、隠されたもののすべての宝を現す者だ。」
3. なぜなら、霊の主が彼を選び、その運命が永遠に霊の主の前に正義において優先されるからである。
4. そして、あなたが見たこの人の子は、王たちや勇士たちをその座から、強い者たちをその王座から立ち上がらせ、強い者たちの手綱を緩め、罪人たちの歯を砕くであろう。
5. そして神は王たちをその王座と王国から引きずり下ろすであろう。なぜなら彼らは神を讃美せず、その王国がどこから授けられたのかを謙虚に認めないからである。
6. 主は強き者の顔を屈服させ、彼らを恥辱で満たされる。彼らの住まいは闇となり、彼らの寝床は蛆虫となり、彼らは寝床から起き上がる望みを失う。なぜなら、彼らは精霊の主の御名を讃えようとしないからである。
7. 彼らは天の星々を裁き、いと高き方に対して手を上げ、地を踏みつけ、そこに住む者たちである。彼らの行いはすべて不義を明らかにし、彼らの力は富

にあり、彼らは自らの手で造った神々を信じ、精霊の主の名を否定する。
8. そして彼らは、主の会衆の家々と、精霊の主の名に固執する信者たちを迫害する。

第 47 章

1. そしてその日には、義人の祈りが上がり、義人の血が霊の主の御前に地上から消え去るであろう。
2. その日には、上空の天に住む聖なる者たちが声を一つにして祈り、賛美し、感謝を捧げ、霊の主の名を祝福する。それは、流された義人の血の代償であり、霊の主の前で義人の祈りが無駄にならないように、彼らに裁きが下されるように、そして彼らが永遠に苦しまなくて済むようにするためである。
3. そのころ、わたしは日の頭が栄光の王座に着くのを見た。そして、生ける者の書物がその前に開かれた。そして、上なる天の万軍とその顧問たちがその前に立っていた。
4. そして聖なる者たちの心は喜びに満たされた。義人の数が捧げられ、義人の祈りが聞かれ、そして義人の血が精霊の主の前に求められたからである。

第 48 章

1. そして、その場所に私は尽きることのない正義の泉を見た。そして、その周囲には多くの知恵の泉があった。渇いている者は皆、そこから飲み、知恵に満たされ、彼らは正義の者、聖なる者、選ばれた者とともに住んでいた。
2. そしてそのとき、人の子は霊たちの主の前で名づけられ、日の頭の前でその名が呼ばれた。
3. まことに、太陽と星座が創造される前、天の星々が作られる前、彼の名は精霊の主の前に名づけられていた。
4. 彼は義人たちにとって杖となり、彼らはそれに頼って倒れることはない。また彼は異邦人の光となり、心に悩む人々の希望となる。
5. 地上に住むすべての者は、彼の前にひれ伏して礼拝し、歌とともに精霊の主を賛美し、祝福し、祝うであろう。
6. そしてこの理由のために、彼は世界の創造の前から、そして永遠に、神の前に選ばれ、隠されていたのです。
7. そして、霊たちの主の知恵は、聖なる義人たちに彼を明らかにしました。彼は義人たちの運命を守ったからです。彼らはこの不義の世界を憎み、軽蔑し、霊たちの主の名において、そのすべての働きとやり方を憎みました。彼らの名前によって救われ、彼らの人生に関しては主の喜びどおりになりました。
8. これらの日には、地上の王たちは顔を伏せ、自らの手の業によって国を所有する強者たちも顔を伏せるであろう。彼らの苦悩と苦難の日に、彼らは自分自身を救うことができないからである。
9. そして、わたしは彼らをわたしの選民の手に引き渡す。彼らは聖なる者たちの前で火の中のわらのように燃え、義人たちの前で水の中の鉛のように沈み、彼らの痕跡はもう見つからないだろう。
10. 彼らの苦難の日には、地上に安息が訪れ、彼らは彼らの前に倒れ、二度と立ち上がることはない。彼らを手で抱き上げ、起こす者もいない。彼らは精霊の主とその油注がれた者を否定したからである。精霊の主の御名が祝福されますように。

第 49 章

l. 知恵は水のように注ぎ出され、栄光はとこしえにその前に絶えることがない。
2. 彼は正義のすべての奥義に全能であり、不正義は影のように消え去り、存続することはありません。選ばれた者が霊の主の前に立ち、その栄光は永遠に続き、その力はすべての世代に及ぶからです。
3. 彼の中には知恵の霊、悟りを与える霊、悟りと力との霊、正義のうちに眠りについた者の霊が宿っている。
4. そして彼は隠された事柄を裁き、誰も彼の前で偽りの言葉を発することはできない。なぜなら彼は、すべての霊の主の前に、彼の喜びに従って選ばれた者だからである。

第 50 章

1. そしてその日には、聖なる者と選ばれた者たちに変化が起こり、日々の光が彼らの上にとどまり、栄光と誉れが聖なる者たちに向けられる。
2. 罪人たちに対して悪が蓄えられた苦難の日、そして義人は霊の主の御名によって勝利する。そして主は他の人々にこのことを証しさせ、悔い改めて自らの手で行った業を放棄させるであろう。
3. 彼らは精霊の主の名によって名誉を受けることはないが、その名によって救われる。精霊の主は彼らに慈悲をかける。その慈悲は大きいからである。
4. そして、神の裁きは正しく、神の栄光の前には不義は存在せず、神の裁きのときに悔い改めない者は神の前で滅びる。
5. そして、これから先、私は彼らに慈悲をかけない、と精霊の主は言う。

第 51 章

1. その日には、地も託されたものを返し、陰府も受けたものを返し、陰府も借りたものを返すであろう。
2. そして神は彼らの中から義なる者、聖なる者を選ぶであろう。彼らが救われる日が近づいたからである。
3. そして、その日には、選ばれた者が私の王座に座り、彼の口は知恵と助言のすべての秘密を語るであろう。霊の主がそれらを彼に与え、彼に栄光を与えたからである。

4. その日には、山々は雄羊のように踊り、丘々も乳に飽きた子羊のように跳ね、天のすべての天使たちの顔は喜びで輝くでしょう。
5. その日には、選ばれた者が立ち上がり、地は喜びにあふれ、義なる者たちがそこに住み、選ばれた者たちがその上を歩むであろう。

第 52 章

l. そして、私が隠されたものの幻をすべて見たあの場所で、私は旋風に運ばれ、西の方へ運ばれた後、それらの日々を過ごしました。
2. そこでわたしの目は、将来あるであろう天のすべての隠されたもの、鉄の山、銅の山、銀の山、金の山、軟金属の山、鉛の山を見た。
3. そこで私は、私と一緒にいた天使に尋ねました。「私が隠れたところで見たものは、何ですか？」
4. そして彼は私に言った。「あなたが見たこれらすべてのものは、彼が地上で力強く権威を持つために、彼の油注がれた者の統治に役立つでしょう。」
5. そして、平和の天使は私に答えて言いました。「少し待ってください。すると、精霊の主を取り巻くすべての秘密があなたに明らかにされるでしょう。」
6. そしてあなたの目で見たこれらの山々、鉄の山、銅の山、銀の山、金の山、軟金属の山、鉛の山、これらすべては選ばれた者の前では蝋のようになり、火の前にあり、上からこれらの山々に流れ落ちる水のようになり、選ばれた者の足元で無力になるであろう。
7. そしてその日には、金によっても銀によっても救われる者はなく、逃れることのできる者もいないであろう。
8. 鉄は戦争に使われなくなり、胸当てを着けることもなくなる。青銅は役に立たなくなり、錫は役に立たず、重んじられることもなくなり、鉛は求められなくなる。
9. そして、選ばれた者が霊の主の前に現れるとき、これらすべてのものは否定され、地球の表面から破壊されるでしょう。

第 53 章

1. そこに私の目は口を開けた深い谷を見た。そして地と海と島々に住むすべての者が彼に贈り物と献上品と敬意の印を持ってくるが、その深い谷は満たされないであろう。
2. そして、彼らの手は不法な行いを犯す。そして、罪人たちは、不法に抑圧したすべての人々を食い尽くす。しかし、罪人たちは、精霊の主の御前で滅ぼされ、その地から追放され、永遠に滅びるであろう。
3. わたしは、懲罰の天使たちが皆そこに留まり、サタンのあらゆる道具を準備しているのを見た。
4. そして私は、私と一緒にいた平和の天使に尋ねました。「彼らは誰のためにこれらの楽器を準備しているのですか？」
5. そして彼は私に言った。「彼らはこの地上の王たちや権力者たちのためにこれらを用意し、それによって彼らを滅ぼすのだ。」
6. そしてこの後、正義の選ばれた者は彼の会衆の家を出現させるでしょう。これから先、彼らは精霊の主の名においてもはや妨げられることはないでしょう。
7. そして、これらの山々は彼の正義の前に大地のように立つことはなく、丘は水の源のようになり、義人は罪人の抑圧から解放されて安息を得る。』

第 54 章

1. そして私は目を上げて地の別の所へ目を向けると、そこに火の燃える深い谷があった。
2. そして彼らは王たちや勇士たちを連れて来て、この深い谷に投げ込み始めました。
3. そこで私は、彼らが計り知れない重さの鉄の鎖を道具として使っているのを目にした。
4. そして私は、私と一緒にいた平和の天使に尋ねました。「これらの鎖は誰のために用意されているのですか？」
5. そして彼は私に言った。「これらはアザゼルの軍勢のために準備されている。彼らはこれを捕らえて完全な断罪の深淵に投げ込むのだ。そして精霊の主が命じたように、その顎を粗い石で覆うのだ。」
6. そして、その大いなる日に、ミカエル、ガブリエル、ラファエル、ファヌエルが彼らを捕らえ、その日に燃える炉に投げ込むであろう。それは、彼らがサタンに従い、地上に住む人々を惑わした不義に対して、霊の主が彼らに復讐するためである。
7. その日には、霊の主から罰が下り、天の上にある水の部屋と、地の下の泉の部屋が全て開かれるであろう。
8. そして、すべての水は水と結びつく。天の上にあるものは男性であり、地の下の水は女性である。
9. そして彼らは、地に住む者と天の果ての下に住む者を皆滅ぼすであろう。
10. そして彼らが地上で行ってきた不義を認めたとき、彼らはそれによって滅びるであろう。

第 55 章

1. その後、月の頭は悔い改めて言った。「私が地上に住むすべての者を滅ぼしたのは無駄だった。」
2. そして神は偉大な御名によって誓われた。「今後、わたしは地上に住むすべての者に対し、このようなことはしない。わたしは天に印を立てる。これはわたしと彼らとの間の永遠の誓約となる。天が地の上にある限りにおいて。これはわたしの命令に従う。」

3. このことのゆえに、苦難と苦痛の日に、わたしが天使の手で彼らを捕らえることを望んだとき、わたしの懲罰と怒りが彼らにとどまるようにする、と霊の主である神は言う。
4. 地上に住む偉大な王たちよ、我が選民が栄光の玉座に座り、精霊の主の名においてアザゼルとその仲間たち、そしてその軍勢すべてを裁いている様子を、汝らは見なければならない。」

第 56 章

1. そして私は、懲罰の天使たちの軍勢が、鉄と青銅の鞭と鎖を持って進んでいくのを見た。
2. そして私は、私と一緒に行った平和の天使に尋ねました。「鞭を執るこれらの人々は、だれのところへ行くのですか？」
3. そして彼は私に言った。「彼らの選ばれた愛する者たちは、谷の深淵の裂け目に投げ込まれるであろう。」
4. そしてその谷は彼らの選ばれた愛する者たちで満たされ、彼らの人生の日々は終わり、彼らが迷った日々はそれ以降は数えられないであろう。
5. その日、天使たちは戻って来て、東のパルティア人とメディア人に向かって突撃する。彼らは王たちを刺激し、不安の霊を彼らに起こさせ、彼らを王座から引きずり下ろす。ライオンが巣穴から飛び出すように、飢えた狼が羊の群れから飛び出すように。
6. 彼らは上って行って、神の選民の地を踏みつけるであろう。神の選民の地は彼らの前に打ち場、大通りとなるであろう。
7. しかし、わたしの義人たちの町は彼らの馬の進軍の妨げとなる。彼らは互いに争い始め、彼らの右手は互いに強く抗い、人は兄弟を、子は父母を区別できなくなり、彼らの殺戮によって死体が数え切れないほどになるまで、彼らの罰は無駄にならない。
8. その日には、陰府が口を開き、彼らはその中に呑み込まれ、彼らの滅びは終わる。陰府は選ばれた者たちの前で罪人たちを食い尽くすであろう。

第 57 章

1. そしてこの後、私は別の荷車の群れとそれに乗る人々が東から風に乗って、西から南へやって来るのを見た。
2. そして彼らの荷車の音が聞こえ、この騒動が起こると天の聖者たちはそれに気づき、地の柱はその場所から動かされ、その音は一日のうちに天の端から端まで聞こえた。
3. そして彼らは皆ひれ伏し、精霊の主を拝むであろう。これが第二のたとえ話の終わりである。

第 58 章

1. そして私は義人と選民に関する第三のたとえ話を語り始めました。
2. あなたたち正義の人、選ばれた人たちは祝福されている、あなたたちの運命は栄光に満ちるであろう。
3. 義人は太陽の光の中にいる。選ばれた者は永遠の命の光の中にいる。彼らの命の日は終わりがなく、聖なる者の命は数え切れない。
4. そして彼らは光を求め、霊の主と共に正義を見出すであろう。永遠の主の名において正義の者たちに平安が与えられるであろう。
5. そしてその後、天の聖なる者たちに、正義の秘密、信仰の遺産を探し求めるようにと告げられるであろう。なぜなら、地上では太陽のように明るくなり、暗闇は過ぎ去ったからである。
6. そして、決して消えることのない光があり、それらは日の限界まで来ないであろう。なぜなら、暗闇がまず破壊され、光が霊の主の前に確立され、正義の光が霊の主の前に永遠に確立されるからである。

第 59 章

1. そのころ、わたしの目は稲妻と光の秘密と、それらが下す裁きを見た。そして、それらは精霊の主の意志に従って、祝福のため、あるいは呪いのために光るのである。
2. そこで私は雷の秘密と、それが天に響き渡るときその音が聞こえる仕組みを見ました。また彼は、霊の主の言葉に従って、幸福と祝福のためか、呪いのためか、地上で執行される裁きを私に見せてくれました。
3. その後、光と稲妻の秘密がすべて私に示され、それらは祝福と満足のために光りました。

第 60 章

1. エノクの生涯における五百年七月十四日。そのたとえ話の中で、私は激しい震えが天の天を震わせ、いと高き方の軍勢と天使たち、千の千倍、万の万倍もの大騒ぎが、激しい不安に襲われるのを見た。
2. そして、日の頭である方が栄光の王座に座り、天使たちと義人たちが彼の周りに立っていました。
3. すると、大きな震えが私を襲い、恐怖が私を捕らえ、私の腰は崩れ、私の手綱は解け、私は顔から倒れた。
4. そしてミカエルは聖なる者たちの中からもう一人の天使を遣わし、私を蘇らせました。彼が私を蘇らせると、私の霊は元通りになりました。なぜなら、私はこの軍勢の視線と、天の騒乱と震えに耐えることができなかったからです。ミカエルは私に言いました。「なぜあなたはこのような幻を見て不安になっているのですか？今日まで神の慈悲の日は続いていました。神は地上に住む者たちに対して慈悲深く、寛容でした。」
5. そして、正しい律法を拝まない者たちと、正しい審判を否定する者たちと、神の名をみだりに唱える者たちのために、霊たちの主が用意しておられる日

と力と懲罰と審判が来るとき、その日は、選ばれた者たちには契約が、罪人たちには異端審問が準備されている。
6. 精霊の主の懲罰が彼らに下される時、それは精霊の主の懲罰が無駄にならないように、そしてその懲罰が子供たちをその母と共に、子供たちをその父と共に殺すために下されるであろう。その後、裁きは主の慈悲と忍耐によって行われるであろう。
7. そしてその日、2 匹の怪物が別れた。1 匹はレヴィアタンという名の雌の怪物で、海の深淵の水の源に住むようになった。
8. しかし、その雄はベヘモスと呼ばれ、その胸でドゥイダインという荒れ地を占領していた。そこは選ばれた正義の人々が住む園の東側であり、精霊の主が創造した最初の人間、アダムから数えて 7 番目である私の祖父が引き上げられた場所である。
9. そして私は他の天使に、あの怪物の力を見せてくれるよう懇願しました。どのようにして怪物が一日のうちに分離され、一方は海の深淵に、他方は荒野の乾いた地に投げ込まれたのかを。
10. そして彼は私に言った。「人の子よ、あなたはここに隠されたものを知ろうとしているのだ。」
11. そして、私と一緒に行って、隠されているものを私に示したもうひとりの天使は、天の高い所と、地の下の深い所、天の果てと天の基の上にある、初めと終わりのものを私に教えてくれました。
12. 風の部屋、風がどのように分割され、どのように量られ、風の門がそれぞれ風の力と月の光の力と、それにふさわしい力に応じてどのように数えられるか。また、星がその名前に従って区分され、すべての区分がどのように分割されているか。
13. 雷は落ちる場所によって、また稲妻の間に作られるすべての区分によって、稲妻がすぐに従えるように。
14. 雷には、鳴り響くのを待つ間、休息する場所が割り当てられています。雷と稲妻は分離できず、1 つで分離していないわけではありませんが、両者は霊を通じて一緒になっており、分離することはありません。
15. 稲妻がひらめくと、雷鳴が響き渡り、霊は鳴り響く間、一時停止を強制し、それらを均等に分配する。なぜなら、それらの鳴り響く宝庫は砂のようなもので、鳴り響くそれぞれの音は手綱で抑えられ、霊の力によって押し戻され、地球の多くの方角に応じて前進するからである。
16. そして海の精神は雄々しく力強く、その力の強さに応じて手綱で海を引き戻し、同様に海は前進して地球上のすべての山々の間に散らばります。
17. 霜の精霊は彼自身の天使であり、雹の精霊は善良な天使である。
18. そして、雪の精霊はその力のゆえにその部屋を捨て去った。そこには特別な精霊がおり、そこから立ち上るものは煙のようで、その名は霜である。
19. そして霧の精霊は彼らの部屋の中では彼らと一体ではなく、特別な部屋を持っている。その流れは光の中でも闇の中でも、冬でも夏でも輝かしく、その部屋には天使がいるからである。
20. 露の精霊は天の果てに住み、雨の部屋とつながっており、その流れは冬でも夏でもあり、その雲と霧の雲はつながっていて、一方が他方に与え合っている。
21. 雨の精霊がその部屋から出ていくと、天使たちが来て部屋を開け、それを導き出す。そして、それが全地に広がると、それは地上の水と一体化する。そして、それが地上の水と一体化する時はいつでも……
22. 水は地に住む者のためのものであり、それは天にいますいと高き方からの地への栄養である。それゆえ、雨には量りがあり、天使たちがそれを管理している。
23. そして私は、義人の園のあたりでこれらのものを見た。
24. そして、私と一緒にいた平和の天使が私に言いました。「神の偉大さに従って準備されたこれらの 2 つの怪物は、餌を食べるでしょう。

第 61 章

1. そして私は、そのころ、天使たちに長い綱が与えられ、彼らが翼をとって飛び、北の方へ去っていくのを見た。
2. そこで私は天使に尋ねました。「なぜ天使たちはこれらの綱を取って出かけたのですか？」すると彼は私に言いました。「彼らは測りに行ったのです。」
3. そして私とともにいた天使は私に言いました。「彼らは義人の秤を義人に渡し、義人の縄を義人に渡す。それは彼らが永遠に霊の主の名によってとどまるためである。」
4. 選ばれた者たちは選ばれた者たちとともに住み始めるであろう。そしてそれは信仰に与えられる基準であり、正義を強めるであろう。
5. そしてこれらの措置により、地の深淵のすべての秘密が明らかにされ、砂漠で滅ぼされた者たち、獣に食われた者たち、海の魚に食われた者たちが、選ばれた者の日に帰還して自ら留まることができるようになる。精霊の主の前では誰も滅ぼされず、誰も滅ぼされることはないからである。
6. そして、上天に住むすべての者は、命令と力と一つの声と火のような一つの光とを受けた。
7. そして彼らは最初の言葉でその方を祝福し、知恵をもって讃美し称賛し、そして彼らは言葉においても生命の精神においても賢明であった。
8. そして、霊の主は選ばれた者を栄光の座に座らせた。そして彼は、天にある聖なる者たちのあらゆる業を裁き、彼らの行いは秤にかけられる。
9. そして彼が顔を上げ、精霊の主の御名の御言葉に従って彼らの隠れた道を裁き、精霊の主の正しい裁

きの道に従って彼らの道を裁くとき、彼らは皆声を一つにして語り、祝福し、精霊の主の御名を讃え、称え、神聖化するであろう。
10. そして彼は、天のすべての軍勢と、上なるすべての聖なる者たち、神の軍勢、ケルビム、セラフィン、オファニン、すべての権力の天使たち、すべての支配国の天使たち、選ばれた者、そして地上と水上のその他の権力者たちを召集する。
11. その日には、信仰の精神、知恵の精神、忍耐の精神、慈悲の精神、公正と平和の精神、そして善良の精神において、皆が声を一つにして祝福し、栄光をたたえ、称え、そして皆が声を一つにしてこう言うであろう。「彼に祝福あれ。精霊の主の御名が永遠に祝福されますように。」
12. 上天で眠らない者も皆、彼を祝福するであろう。天にいる聖なる者たちも皆、彼を祝福するであろう。命の園に住む選ばれた者たちも皆、あなたの祝福された御名を祝福し、栄光をたたえ、讃え、あがめることのできる光の霊も皆、そして肉なる者も限りなく永遠にあなたの御名を讃え、祝福するであろう。
13. 精霊の主の慈悲は大きく、また忍耐強い。そして、精霊の主の名において、彼はそのすべての作品と創造したものを、義なる者と選ばれた者に明らかにした。

第 62 章

1. そして主は王たち、力ある者たち、高貴な者たち、そして地上に住む者たちにこう命じて言った。「選ばれた者を認めることができるならば、目を開けて角を上げなさい。」
2. そして、霊たちの主は彼を栄光の王座に着かせ、正義の霊が彼の上に注がれ、彼の口の言葉はすべての罪人を殺し、すべての不義な者は彼の前から滅ぼされる。
3. その日には、すべての王たちと勇士たち、高貴な者たち、地を支配する者たちが立ち上がり、彼らが見て認めるのは、彼が栄光の王座に座っている姿であり、正義は彼の前で裁かれ、偽りの言葉は彼の前で語られないということである。
4. そのとき、彼らは産みの苦しみを味わう女に臨むように、その子が胎内に入り、産みの苦しみを味わうであろう。
5. そして彼らの一方は他方を見て、恐れおののき、顔を伏せ、苦痛に襲われるであろう。人の子が栄光の王座に座っているのを彼らが見るとき。
6. そして、王たち、勇士たち、そして地上を所有するすべての者は、すべてを統べ治め、隠れていた方を祝福し、栄光をたたえ、讃えるであろう。
7. 人の子は初めから隠されていたが、いと高き方はその全能の力をもって彼を守り、選ばれた者たちに彼を現された。
8. そして、選ばれた聖なる者たちの会衆が集められ、その日、選ばれた者たちは皆、彼の前に立ちます。
9. そして、すべての王たち、力ある者たち、高貴な者たち、そして地上を支配する者たちは、彼の前にひれ伏し、人の子を崇拝し、彼に希望を置き、彼に嘆願し、彼の手に慈悲を懇願するであろう。
10. しかし、精霊の主は彼らを圧迫し、彼らは急いで彼の前から立ち去るであろう。彼らの顔は恥で満たされ、彼らの顔の暗闇はますます深まるであろう。
11. そして神は彼らを天使たちに引き渡し、神の子らと神の選民を虐げた者たちへの復讐を行わせる。
12. そして彼らは、義なる者たちと神に選ばれた者たちにとって見せ物となり、彼らは彼らのことで喜ぶであろう。なぜなら、精霊の主の怒りが彼らの上にとどまり、神の剣が彼らの血に酔っているからである。
13. そして、その日に、義人と選民は救われ、それ以降、彼らは罪人や不義な者の顔を見ることは決してないであろう。
14. そして、霊たちの主が彼らの上に住み、彼らは人の子とともに食事をし、永遠に寝たり起きたりします。
15. そして、義人と選ばれた者たちは地から立ち上がり、落胆の表情を止め、栄光の衣を着るであろう。
16. これらは、霊の主から与えられる命の衣服である。あなたの衣服は古びることがなく、あなたの栄光は霊の主の前で消えることはない。

第 63 章

1. その日には、地上の権力者や王たちは、自分たちが引き渡された天使たちの罰から少しの間だけ猶予を与えてくれるよう主に懇願し、霊の主の前にひれ伏して礼拝し、その前に自分たちの罪を告白するであろう。
2. そして彼らは、霊の主を祝福し、栄光をたたえて言うであろう。「霊の主、王の主、力ある者の主、富める者の主、栄光の主、知恵の主が祝福されますように。
3. あなたの力は世代から世代へと、あらゆる隠れた事において輝かしく、あなたの栄光は永遠に続きます。あなたの秘密はすべて深く、数え切れないほどであり、あなたの正義は計り知れません。
4. 私たちは今、王の主、すべての王の上に王である方を讃え、祝福すべきことを学びました。
5. そして彼らは言うであろう。「ああ、私たちは休息を取り、主を賛美し、感謝し、主の栄光の前で私たちの信仰を告白したい。」
6. そして今、私たちは少しの休息を切望しているが、それは得られない。私たちは懸命に追い求めているが、それを得ることはできない。光は私たちの前から消え去り、闇が永遠に私たちの住まいとなる。
7. わたしたちは、主の前で信仰せず、霊の主の名を讃えず、わたしたちの主を讃えず、わたしたちの王国の王笏とわたしたちの栄光に望みを置いていたのです。

8. そして、私たちが苦しみと苦難に遭う日に、神は私たちを救ってくださらず、私たちは告白する猶予も得られません。私たちの主は、そのすべての業と、その裁きと正義において真実であり、その裁きには人を差別しません。
9. そして私たちは自分の行いのゆえに神の御前から消え去り、私たちのすべての罪は義とみなされるのです。」
10. 今、彼らは心の中で言うであろう。「我々の魂は不正な利益で満ちているが、それは我々がその中からシェオルの重荷へと下ることを妨げるものではない。」
11. その後、彼らの顔は暗黒に満たされ、人の子の前に恥辱を受ける。彼らは彼の前から追い出され、剣が彼らの中に彼の前に留まるであろう。
12. 精霊の主はこう言われた。「これは精霊の主の御前で、力ある者、王たち、高貴な者、そして地上を所有する者たちに対する法令と裁きである。」

第 64 章

1. そして、私はその場所に隠された他の形態を見ました。
2. 私は天使の声がこう言うのを聞いた。「これらは地上に降りて、隠されていたことを人の子らに明らかにし、人の子らを誘惑して罪を犯させた天使たちである。」

第 65 章

1. そのころ、ノアは地が沈み、滅びが近づいているのを見た。
2. そして彼はそこから立ち上がり、地の果てまで行き、祖父エノクに大声で叫んだ。ノアは三度、苦々しい声で言った。「私に耳を傾けてください。私に耳を傾けてください。」
3. そこで私は彼に言った。「地の上に何が落ちて、地がこのようにひどい状態になり、揺れているのか教えてください。そうしないと、私も一緒に滅びてしまうのではないでしょうか。」
4. すると、地上に大きな騒動が起こり、天から声が聞こえたので、私は顔を地面に伏せました。
5. そして私の祖父エノクが来て私のそばに立って私に言いました。「なぜあなたは激しく泣き叫びながら私に向かって叫んだのですか?
6. そして、主の御前から地上に住む者に対する命令が出た。彼らは天使たちのあらゆる秘密と、サタンたちのあらゆる暴虐と、彼らのあらゆる力、特に最も秘密にされた力と、魔術を行う者たちのあらゆる力と、魔術の力と、全地のために鋳像を作る者たちの力を知ったので、彼らの滅びは遂げられた。
7. 土の塵から銀がどのように生成され、柔らかい金属が土から生じるか。
8. 鉛と錫は、最初のもののように土から生成されるのではない。それらを生成するのは泉であり、そこには天使が立っており、その天使は卓越している。
9. そしてその後、私の祖父エノクは私の手を取って起こし、私に言いました。「行きなさい。私はこの地上の騒動について精霊の主に尋ねたのです。」
10. そして神は私にこう仰せられた。「彼らの不義のゆえに、彼らの裁きは定められた。そして私は永遠にそれを差し控えることはない。彼らが探求し、学んだ魔術のゆえに、地とそこに住む者たちは滅ぼされる。」
11. そして、これらの人々は、隠されていたものを見せてしまったため、永遠に悔い改める余地がなく、罪に定められている。しかし、息子よ、あなたに関しては、霊の主は、あなたが清く、秘密に関する非難に対して罪がないことを知っておられる。
12. そして神はあなたの名を聖なる者たちの中に定め、あなたを地上に住む者たちの中に保存し、あなたの義なる子孫を王位と大いなる栄誉に定めた。そしてあなたの子孫から永遠に数えきれない義なる聖なる者たちの泉が湧き出るであろう。

第 66 章

1. その後、彼は私に懲罰の天使たちを見せました。彼らは来て、地の下にある水のあらゆる力を解き放ち、地に住むすべての者に裁きと滅びをもたらす準備ができています。
2. そして、霊の主は、出かけて行く天使たちに、水を上げないように、むしろそれを止めるようにと命じた。その天使たちは水の力を支配していたからである。
3. そして私はエノクの前から立ち去った。

第 67 章

1. そしてそのころ、神の言葉がわたしに臨み、こう言われた。「ノアよ、あなたのくじはわたしの前に現れた。それはとがめのないくじ、愛と正義のくじであった。
2. そして今、天使たちは木の建物を建てている。彼らがその仕事を完了すると、私はその上に手を置いてそれを守る。するとそこから生命の種が生まれ、地球が住人なしで終わることのないような変化が始まる。
3. そして、わたしはあなたの子孫を永遠にわたしの前に堅く立て、あなたと共に住む者を広めよう。それは地の面で実りのない者とならないであろう。それは主の名によって地上で祝福され、増えるであろう。』
4. そして神は、不義を行った天使たちを、私の祖父エノクが以前西の金、銀、鉄、軟金属、錫の山々の間にある私に見せてくれたあの燃える谷に閉じ込めるでしょう。

5. そして私は、大きな震えと水の震えが起こっている谷を見た。
6. そして、これらすべてが起こったとき、その場所で燃え盛る溶けた金属とその激動から硫黄の匂いが生じ、それがその水と結びつき、人類を迷わせた天使たちの谷がその地の下で燃え上がった。
7. そしてその谷間から火の流れが流れ、そこで地上に住む者を惑わした天使たちが罰せられる。
8. しかし、その日には、その水は王たちや権力者や高貴な人々、そして地上に住む人々にとっては、肉体の治癒のためではなく、霊の懲罰のために用いられるであろう。彼らの霊は欲望に満ちており、肉体において懲罰を受けることになっている。彼らは霊の主を否定し、日々懲罰を見ていながら、主の名を信じていないからである。
9. そして彼らの肉体の焼かれが激しくなるにつれ、彼らの霊にもそれに応じた変化が永遠に起こるであろう。なぜなら、精霊の主の前では誰も無駄な言葉を発することはできないからである。
10. 彼らは自分の肉の欲望を信じ、主の霊を否定しているので、裁きが彼らに下るのです。
11. そして、それらの同じ水はその日に変化するであろう。なぜなら、天使たちがこれらの水の中で罰せられるとき、これらの泉の水の温度が変化するであろうし、天使たちが昇天するとき、この泉の水は変化して冷たくなるであろうから。
12. そして私はミカエルが答えて言うのを聞いた。「天使たちが裁かれるこの裁きは、地上を所有する王たちや勇者たちへの証言である。」
13. これらの裁きの水は王たちの肉体を癒し、彼らの肉体の欲望を満たすものであるため、彼らはその水が変化して永遠に燃える火となるのを見ることも、信じることもないであろう。

第 68 章

1. そしてその後、私の祖父エノクは、彼に与えられた寓話集の中のすべての秘密を私に教え、それを寓話集の言葉で私のためにまとめてくれました。
2. そしてその日、ミカエルはラファエルに答えて言った。「霊の力が私を感動させ、秘密の審判、天使たちの審判の厳しさに震え上がらせます。執行され、その前に彼らが消え去る厳しい審判に誰が耐えられるでしょうか？」
3. そしてミカエルは再び答えてラファエルに言った。「このことについて心が和らがない者は誰ですか。このように彼らを導き出した者たちのせいで彼らに下されたこの裁きの言葉によって動揺しない者は誰ですか。」
4. そして、霊の主の前に立ったミカエルはラファエルにこう言った。「私は主の御前で彼らの味方をすることはしない。彼らがまるで主であるかのように振る舞うので、霊の主は彼らに怒っているのだ。それゆえ、隠されたすべてのことが永遠に彼らに降りかかる。天使も人間も、その報いを受けることはない。彼らだけが永遠に裁きを受けるのだ。」

第 69 章

1. そしてこの裁きの後、彼らは地上に住む人々にこのことを示したので、彼らを怖がらせ、震え上がらせるであろう。
2. そして、それらの天使の名前を見なさい。これが彼らの名前です。彼らの最初のものはサムジャザ、2 番目はアルタキファ、3 番目はアルメン、4 番目はコカベル、5 番目はトゥルラー、6 番目はルムジャル、7 番目はダンジャル、8 番目はネケル、9 番目はバラケル、10 番目はアザゼル、11 番目はアルマロス、12 番目はバタルジャル、13 番目はブサセジャル、14 番目はハネル、15 番目はトゥルラー、16 番目はシマペスイル、17 番目はジェトレ、18 番目はトゥルマール、19 番目はトゥルラー、20 番目はルマール、21 番目はアザゼル。
3. これらは彼らの天使たちの長たちとその名前である。その長たちは百の位、五十の位、十の位を司っていた。
4. 最初のジェコンの名前。すなわち、神の息子たち全員を惑わし、地上に引きずり下ろし、人の娘たちを通して惑わした者。
5. そして、2 番目はアスベエルと呼ばれていました。彼は神の聖なる息子たちに悪い計らいを与え、彼らを惑わして、人の娘たちによって彼らの体を汚しました。
6. そして三番目はガドレエルと呼ばれた。彼は人の子らに死の打撃をすべて見せ、エバを惑わし、人の子らに盾と鎖かたびら、戦いの剣など死の武器をすべて見せた。
7. そして、その日から永遠に、彼らは彼の手から地上に住む者たちに向かって攻めてきた。
8. そして 4 番目はペネミュエと呼ばれ、人々に苦いことと甘いことを教え、彼らの知恵の秘密をすべて教えました。
9. そして神は人類にインクと紙で書くことを教え、それによって永遠から永遠まで、そして今日まで多くの人が罪を犯した。
10. 人間は、自分の誠実さをペンとインクで証明するために創造されたのではない。
11. 人間は、純粋で義にかなったままでいるために、天使とまったく同じように創造された。そして、すべてを滅ぼす死は、彼らを捕らえることはできなかった。しかし、この知識によって彼らは滅び、この力によって死は私を滅ぼすのだ。
12. そして 5 番目はカスデジャと呼ばれ、人々の子らに、霊や悪魔によるあらゆる邪悪な打撃、子宮内の胎児が消滅するための打撃、魂の打撃、蛇に噛まれること、真昼の暑さによって起こる打撃を示した人物であり、蛇の息子でタバエトと呼ばれた人物である。

13. そしてこれがカスベールの任務である。カスベールは栄光のうちに高みに住まわれたとき、聖なる者たちに示した誓いの長であり、その名はビカーである。
14. この天使は、ミカエルに、隠された名前を示し、誓いの中でそれを宣言し、その名前と誓いの前で、人類に秘密にされていたことをすべて明らかにした者たちが震えるようにするよう頼んだ。
15. そして、これがこの誓いの力です。それは強力で強いからです。そして彼はこの誓いのアカエをミカエルの手に委ねました。
16. そして、これらはこの誓いの秘密である。そして、それらは彼の誓いによって強力である。そして、天は世界が創造される前に停止しており、そして永遠に。
17. そしてそれを通して地球は水の上に築かれ、山々の秘密の奥からは美しい水が湧き出ます。世界の創造から永遠に至るまで。
18. そしてその誓いによって海が創造され、その怒りの時に備えて砂をその基礎として置いた。そして海は世界の創造から永遠に至るまでそれを越えることはできない。
19. そしてその誓いによって深淵は固められ、永遠から永遠までその場所から動かず留まることはない。
20. そしてその誓いによって、太陽と月はその軌道を完成し、永遠から永遠までその法則から逸脱することはありません。
21. そしてその誓いによって星々は軌道を描き、神はその名を呼び、星々は永遠から永遠まで神に答える。
22. また、水と風とあらゆるそよ風の精霊、また風のあらゆる方角からのその進路も同様である。
23. 雷鳴の声と稲妻の光は保たれ、雹の部屋と霜の部屋と霧の部屋と雨と露の部屋も保たれます。
24. そしてこれらの者は皆信仰し、霊の主の御前に感謝を捧げ、力の限りを尽くして主に栄光を帰す。彼らの食物は感謝の行いの一つ一つにある。彼らは永遠に霊の主の御名に感謝し、栄光を帰し、讃える。
25. そしてこの誓いは彼らに対して力強く、それによって彼らは守られ、彼らの道は守られ、彼らの進路は滅ぼされない。
26. そして彼らの間に大きな喜びが起こり、彼らは、人の子の名が彼らに啓示されたことを祝福し、栄光をたたえ、称えた。
27. そして彼は栄光の王座に座り、審判の総量は人の子に与えられ、彼は罪人たちと、世を迷わせた者たちを、地の面から滅ぼした。
28. 彼らは鎖でつながれ、滅びの集会場に閉じ込められ、彼らのすべての業は地上から消え去るであろう。
29. 今からは朽ちるものは何一つない。人の子が現れて、栄光の王座に着いたからである。すべての悪は彼の前から消え去り、人の子の言葉は霊の主の前に出て力を持つであろう。

第 70 章

1. そしてこの後、彼の名前は、彼の生涯を通じて、地上に住む者の中から人の子と霊の主にまで高く上げられた。
2. そして彼は霊の戦車に乗って高く上げられ、彼の名は彼らの間で消えた。
3. そしてその日から、私は彼らの中に数えられなくなり、彼は私を二つの風の間、北と西の間に置きました。そこで天使たちは綱を取り、私のために、選ばれた者と義人のための場所を測りました。
4. そして私は、初めからその場所に住んでいた最初の先祖たちと義人たちをそこで見ました。

第 71 章

1. その後、わたしの霊は移され、天に昇った。そしてわたしは、神の聖なる子たちが燃える炎の上を歩いているのを見た。彼らの衣は白く、上着は白く、顔は雪のように輝いていた。
2. そして私は二つの火の流れを見た。そしてその火の光はヒヤシンスのように輝いていた。そして私は精霊の主の前にひれ伏した。
3. そして、大天使のひとりである天使ミカエルが、わたしの右手をつかみ、わたしを引き上げて、すべての奥義へと導き、義に関するすべての奥義をわたしに示してくださいました。
4. そして彼は私に天の果てのすべての秘密と、すべての星のすべての部屋とすべての光体を見せてくれました。それらは聖なる者たちの目の前から出ています。
5. そして彼は私の霊を天の天に移しました。そして私はそこに、まるで水晶で作られた構造物のようなものを見ました。そしてその水晶の間には生きた火の舌がありました。
6. そして、私の霊は、その火の家を囲む帯を見た。その四方から生ける火に満ちた流れが流れ、その家を囲んでいた。
7. そして周囲にはセラフィン、ケルビム、オファニンがいた。これらは眠らずに神の栄光の玉座を守っている者たちである。
8. そして私は、数えきれない天使たち、千の千倍、万の万倍もの天使たちがその家を囲んでいるのを見た。ミカエル、ラファエル、ガブリエル、パヌエル、そして天上の聖なる天使たちが、その家を出入りしていた。
9. そして彼らもその家から出てきた。ミカエル、ガブリエル、ラファエル、ファヌエル、そして数え切れないほど多くの聖なる天使たちも。
10. そして彼らと共に天の頭がいた。その頭は羊毛のように白く、純白で、その衣は言葉では言い表せないほどであった。
11. そして私は顔を地面に伏せ、私の全身は楽になり、私の霊は変化しました。そして私は大声で叫びまし

た。力強い霊で、祝福され、栄光を受け、称賛されました。
12. そして、わたしの口から出たこれらの祝福は、あの日の頭の前に大いに喜ばれた。
13. そして、その日の長は、ミカエル、ガブリエル、ラファエル、ファヌエル、そして数え切れない何千何万もの天使たちと共に来ました。
14. そして彼は私のところに来て、大声で私に挨拶して言った。「これは正義のために生まれた人の子です。正義は彼の上にとどまり、日の頭の正義は彼を見捨てません。」
15. そして彼は私に言った。「彼は来るべき世界の名においてあなたに平和を宣言します。世界の創造以来、平和はここから始まりました。そしてそれは永遠にあなたに続くでしょう。」
16. すべての人は彼の道に歩むであろう。なぜなら、正義は決して彼を見捨てないからである。彼らの住まいは彼と共にあり、彼らの相続地も彼と共にあり、彼らは永遠に彼から引き離されることはないであろう。
17. こうして人の子の日々は長くなり、義人は平安と正しい道を得るであろう。永遠に霊の主の御名によって。

第 72 章

1. 天界の光源の軌道、それぞれの関係、それらの等級、それらの支配と季節、それらの名前と起源の地と月による書。私と共にいて、それらの導き手である聖天使ウリエルが私に示してくれた。そして彼は私にそれらの法則のすべてをありのままに示し、それが世界のすべての年と永遠にわたって、永遠に続く新しい創造が完成されるまでどのようになっているかを示した。
2. そしてこれが光源の第一の法則である。光源である太陽は天の東の門から昇り、天の西の門に沈む。
3. そして私は、太陽が昇る六つの門と、太陽が沈む六つの門、そして月がこれらの門から昇り沈む門、そして星の指導者たちと、彼らに導かれる者たちを見た。東に六つ、西に六つ、そしてすべては正確に一致する順序で互いに続いていた。また、これらの門の右と左には多くの窓があった。
4. そして最初に太陽と呼ばれる大いなる発光体が出現し、その周囲は天空の周囲と同程度であり、光り輝き熱する火に満ちている。
5. 彼が昇る戦車は風が動かし、太陽は天から沈み、北を通って東に戻り、適切な門に導かれて天面を照らします。
6. このようにして、彼は最初の月に、キャスト内の 6 つのポータルのうち 4 番目である大きなポータルで昇ります。
7. そして、最初の月に太陽が昇る第 4 の門には 12 の窓があり、季節に応じて開かれるとそこから炎が出ます。
8. 太陽が天に昇ると、30 朝連続してその第 4 の門から出てきて、天の西にある第 4 の門に正確に沈みます。
9. そしてこの期間中、30 日目の朝まで昼は毎日長くなり、夜は毎晩短くなります。
10. その日には昼が夜より 9 分の 1 長く、昼はちょうど 10 分の 1、夜はちょうど 8 分の 1 になります。
11. そして太陽は、その第四の門から昇り、第四の門に沈み、三十朝ごとに東の第五の門に戻り、そこから昇り、第五の門に沈む。
12. そして昼は 2 分の 1 長くなって 11 分の 1 になり、夜は 7 分の 1 になる。
13. そしてそれは東に戻って第六の門に入り、その兆候に従って毎朝三十一回、第六の門で昇り沈む。
14. その日には、昼が夜よりも長くなり、昼は夜の二倍となり、昼は十二の部分に、夜は短くなり、六つの部分となる。
15. そして太陽は昇り、昼を短くし、夜を長くし、太陽は東に戻って第六の門に入り、そこから昇り、三十朝ごとに沈む。
16. そして三十の朝が過ぎると、昼はちょうど一つ減り、十一になり、夜は七になる。
17. そして太陽は西の第六の門から出て東へ行き、第五の門で三十朝昇り、再び西の第五の門で沈む。
18. その日、昼は二つ減って十になり、夜は八になる。
19. そして太陽は第五の門から出て西の第五の門に沈み、そのしるしに従って三十一日の朝、第四の門から昇り、西に沈む。
20. その日、昼と夜の長さは等しくなり、夜は九つに、昼は九つになる。
21. そして太陽はその門から昇り、西に沈み、東に戻り、3 番目の門で 30 朝昇り、3 番目の門で西に沈みます。
22. そしてその日には、三十日目の朝まで、夜は昼よりも長くなり、夜は夜よりも長くなり、昼は昼よりも短くなり、夜はちょうど十の位、昼は八の位となる。
23. そして太陽はその第三の門から昇り、西の第三の門に沈み、東に戻り、三十朝の間、東の第二の門から昇り、同様に天の西の第二の門に沈む。
24. そしてその日には、夜は十一部分、昼は七部分となる。
25. そしてその日、太陽はその第二の門から昇り、西の第二の門に沈み、三十一日の朝に東の第一の門に戻り、天の西の第一の門に沈む。
26. そしてその日には夜が長くなり、昼の二倍の長さとなり、夜はちょうど十二分、昼は六分になる。
27. そして太陽は、その軌道の区分を横切り、再びその軌道の区分を回転し、30 朝ごとにその門に入り、その反対側の西に沈む。
28. そしてその夜、夜の長さは九分の一に短縮され、夜は十一の部分に、昼は七の部分になっていました。
29. そして太陽は戻って東の第二の門に入り、30 の朝に昇ったり沈んだりしながら軌道を回り続ける。

30. そしてその日には夜の長さが減り、夜は十の位、昼は八の位となる。
31. そしてその日、太陽はその門から昇り、西に沈み、東に戻り、三十一日の朝、第三の門から昇り、天の西に沈む。
32. その日、夜は九つに減り、昼も九つに減り、夜は昼と等しくなり、年はちょうど三百六十四日となる。
33. そして昼と夜の長さ、また昼と夜の短さが生じる。太陽の運行を通じてこれらの区別がなされる。
34. こうして、その流れは毎日長くなり、夜ごとに短くなる。
35. そしてこれが太陽の法則であり、太陽の進路である。太陽は 60 回戻って昇るたびに戻ってくる。つまり、太陽と呼ばれる偉大な発光体は永遠に存在するのだ。
36. そして、このようにして昇るものは偉大なる光体であり、主が命じたように、その外観に応じてそのように名付けられる。
37. 昇ると沈むことも、休むこともない。昼も夜も走り続ける。その光は月の七倍も明るい。しかし、大きさに関しては両者は同じである。

第 73 章

1. そしてこの法則の後に、私は月と呼ばれる小さな光源に関する別の法則を見ました。
2. 彼女の周囲は天の周囲と同じで、彼女が乗る戦車は風に動かされ、彼女には定められた量の光が与えられている。
3. そして月の出と沈みは毎月変わり、月の日々は太陽の日々と同じであり、月の光が均一なときは太陽の光の七分の一に相当する。
4. こうして彼女は昇る。そして 30 日目の朝、東の空に最初の月相が現れ、その日、彼女は目に見えるようになり、あなたにとって 30 日目の月の最初の相と、太陽が昇る門の太陽が一体となる。
5. そして、その半分は七分の一だけ外に出て、その全周は空虚で、光がなく、その七分の一と、その光の十四分の一を除いては。
6. そして彼女がその光の半分の七分の一を受け取ると、彼女の光はその七分の一と半分になります。
7. そして月は太陽とともに沈み、太陽が昇ると月も昇り、光の半分を受け取り、その夜、月の朝の始まりに月は太陽とともに沈み、その夜は 14 の部分と 1 の半分で見えなくなります。
8. そしてその日、彼女はちょうど七分の一で昇り、太陽の昇るところから出て、そして退き、彼女の残りの日々において、残りの十三の部分に輝きます。

第 74 章

1. そして私は、彼女の別の道筋、つまり彼女の法則と、その法則に従って彼女が毎月の回転をどのように行っているかを見ました。
2. そして、これらすべてを率いる聖なる天使ウリエルが私に示し、その位置も示したので、私はウリエルが示したとおりにその位置を記録し、月もそのとおりに、そして 15 日目までの光の出現も記録した。
3. 七分の一ずつで東の光がすべて完成し、七分の一ずつで西の闇がすべて完成します。
4. そして、ある月には設定を変え、ある月には独自の進路をたどります。
5. 2 か月で月は太陽とともに沈みます。中央の 2 つのポータルでは 3 番目と 4 番目のポータルになります。
6. 彼女は 7 日間出かけて行き、方向を変えて再び太陽が昇る門を通って戻り、すべての光を終える。そして太陽から遠ざかり、8 日後に太陽が昇る第 6 の門に入る。
7. 太陽が第 4 のポータルから出て行くと、7 日間進み、第 5 のポータルから出て、7 日後に再び第 4 のポータルに戻り、その光をすべて消し去ります。そして 8 日後に退いて、最初のポータルに戻ります。
8. そして彼女は 7 日後に再び太陽が出てくる第 4 の門に戻ります。
9. こうして私は彼らの位置を見た――その日々、月がどのように昇り、太陽がどのように沈むか。
10. そして、5 年を足し合わせると太陽には 30 日の余剰があり、その 5 年間の 1 年間に太陽に加算される日数はすべて、満 364 日になります。
11. そして、太陽と星の余剰は 6 日になります。5 年間で 6 日が 30 日となり、月は太陽と星より 30 日遅れます。
12. そして、太陽と星は、すべての年を正確に計算し、永遠にその位置を一日たりとも進めたり遅らせたりすることなく、364 日で完全な正義をもって年を完了します。
13. 3 年間は 1092 日、5 年間は 1820 日なので、8 年間は 2912 日になります。
14. 月だけの場合、3 年間で日数は 1062 日になり、5 年間で 50 日遅れます。[つまり、合計（1770）に（1000 と）62 日が加算されます。]
15. そして 5 年間は 1770 日なので、月の 8 年間の日数は 2832 日になります。
16. [8 年間で 80 日遅れる] 8 年間で遅れる日数はすべて 80 日です。
17. そして一年は、世界の点と太陽の点に正確に一致しており、太陽は 30 日間昇り、沈む門から昇ります。

第 75 章

1. そして、すべての創造物とすべての星の上に置かれている千人の長のリーダーたちは、年の計算に従って、彼らの職務から切り離せない 4 つの閏日にも関係しており、彼らは年の計算では計算されない 4 日間に奉仕します。
2. そしてそれらのせいで人々はそこで道を誤る。なぜならそれらの光源は確かに世界のステーションで奉仕しており、1 つは天国の第一のポータルに、1 つ

は第三のポータルに、1つは第四のポータルに、そして1つは第六のポータルにいて、そして1年の正確さは364の独立したステーションを通じて達成されるからである。
3. 天使ウリエルは、私に兆候と時と年と日を示しました。栄光の主はウリエルを永遠に天と地のすべての天体の指導者とし、天の表面を支配し、地上に見られるようにし、昼と夜、すなわち太陽、月、星、そして天のすべての戦車で回転するすべての奉仕する生き物の指導者としました。
4. 同様に、ウリエルは私に、天空の太陽の戦車の周囲に開かれた12の扉を見せた。そこから太陽の光が射し込み、定められた季節に扉が開かれると、そこから暖かさが地上に拡散する。
5. 風と露の霊が開かれるとき、天の果てに立つ。
6. 天には地球の果てにある十二の門があり、そこから太陽、月、星、そして天のあらゆる営みが東西に現れる。
7. 彼らの左右には多くの窓が開いており、定められた時間に一つの窓から暖かさが生まれます。これは、神が命じたとおりに星が出て来て、その数に応じて星が沈む扉と対応しています。
8. そして私は、沈むことのない星々が回転する門の上を、世界を走る天空の戦車を見た。
9. そして、その一つは他のすべてよりも大きく、全世界を巡って進みます。

第76章

1. そして私は、地の果てに天のあらゆる方角に通じる12の門が開いているのを見た。そこから風が出て地の上を吹き渡っていた。
2. そのうちの三つは天の面に開かれ、三つは西に、三つは天の右に、三つは左に開かれている。
3. 最初の三つは東のものであり、三つは北のものであり、その次の三つは南の左側のものであり、三つは西のものである。
4. これらのうちの4つからは祝福と繁栄の風が吹き、残りの8つからは有害な風が吹きます。これらの風が吹き起こされると、全地とその上の水、そこに住むすべてのもの、また水の中と陸にあるすべてのものに破壊をもたらします。
5. そして、それらの門から吹き出す最初の風は、東風と呼ばれ、東にあり南に傾いている最初の門から吹き出す。そこから荒廃、干ばつ、暑さ、破壊が出てくる。
6. そして、真ん中の2番目の門を通ると、それにふさわしいものがやって来て、そこから雨と豊穣と繁栄と露がやって来ます。そして、北にある3番目の門を通ると、寒さと干ばつがやって来ます。
7. そして、これらが出てきた後、南風が3つの入り口を通って吹き出します。東に傾いている最初の入り口からは熱い風が出てきます。
8. そしてその隣の中央の門からは芳しい香り、露、雨、繁栄、健康が出てきます。
9. そして西にある第三の門からは露と雨、イナゴと荒廃が出てきます。
10. その後北風が吹き、東の第七の門からは露と雨、イナゴと荒廃がもたらされる。
11. そして中央の門からは健康と雨と露と繁栄が直接やって来ます。そして西の3番目の門からは雲と霜、雪と雨、露とイナゴがやって来ます。
12. そして、これら[4つ]の次には西風が来る。北に隣接する最初の門を通って露と霜、そして寒さと雪と霜が出てくる。
13. そして中央の門からは露と雨、繁栄と祝福が生まれ、南に隣接する最後の門からは干ばつと荒廃、そして焼けと破壊が生まれます。
14. こうして天の四方にある十二の門は完成し、そのすべての法とすべての災いとすべての恩恵を我が息子メトセラよ、汝に示した。

第77章

1. そして第一の四分界は、第一であるので東と呼ばれ、第二は南と呼ばれている。いと高き方がそこに降りて来るからである。そう、そこには特別な意味で永遠に祝福される方が降りて来るのである。
2. そして西の四半部は衰退期と呼ばれます。なぜならそこでは天のすべての光が衰え、沈んでいくからです。
3. そして、北と呼ばれる第四の四分界は、3つの部分に分かれています。最初の部分は人間の住居です。2番目には水の海、深淵、森、川、暗闇、雲があります。3番目の部分には正義の園があります。
4. 私は地上のすべての山よりも高い七つの山を見た。そこから霜が降り、日々、季節、年が過ぎ去る。
5. 私は地上に七つの川を見ました。それはすべての川よりも大きく、その一つは西から来て大海に水を注ぎます。
6. そして、この二人は北から海に来て、その水を東のエリュトライ海に注ぎます。
7. そして残りの4人は北側の海に出て、2人はエリュトライ海に、2人は大海に出てそこで排水するが、砂漠に排水したと言う者もいる。
8. 私は海と本土に7つの大きな島を見ました。本土に2つ、大海に5つあります。

第78章

1. 太陽の名前は次のとおりです。最初のものはオルジャレス、2番目はトマスです。
2. そして月には4つの名前があります。最初の名前はアソンジャ、2番目はエブラ、3番目はベナセ、4番目はエラです。
3. これらは2つの大きな光体です。その円周は天の円周と同じで、両者の円周の大きさは同じです。

4. 太陽の周囲には、月よりも多くの光の 7 つの部分があり、太陽の 7 番目の部分が使い果たされるまで、一定の量で転送されます。
5. そして彼らは西の門から入り、北を巡って回転し、天面の東の門から出てくる。
6. 月が昇ると、その 14 分の 1 が天に現れ、光は天に満たされる。14 日目に月は光を全うする。
7. そして、15 日目に月の満ち欠けに応じて、月の明るさが完成するまで、15 の光が月に移され、月は 15 の部分になり、月は 14 の部分が追加されて成長します。
8. そして、月は欠けていくにつれて、初日には光量が 14 に減り、2 日目には 13 に、3 日目には 12 に、4 日目には 11 に、5 日目には 10 に、6 日目には 9 に、7 日目には 8 に、8 日目には 7 に、9 日目には 6 に、10 日目には 5 に、11 日目には 4 に、12 日目には 3 に、13 日目には 2 に、14 日目には 7 分の 1 にまで減り、15 日目には残りの光が完全に消えます。
9. ある月には 1 か月が 29 日あり、またある月には 28 日あります。
10. そしてウリエルは私にもう一つの法則を示しました。それは、光がいつ月に伝わるか、そして太陽によって光が月のどの側に伝わるか、というものでした。
11. 月が光の中で成長していく全期間を通じて、月はそれを太陽の反対側の 14 日間に自らに移し、その光は天上で完全に実現され、月全体が照らされるとき、その光は天上で完全に実現されます。
12. そして最初の日は新月と呼ばれます。その日には光が月の上に昇るからです。
13. 太陽が西に沈む日にちょうど満月となり、夜に東から昇り、太陽が月を背にして昇り、月が太陽を背にして見えるまで、月は一晩中輝きます。
14. 月の光が出てくる側では、月は再び欠けていき、すべての光が消えて、その月のすべての日が終わり、月の周囲は空虚で光がありません。
15. そして彼女は 3 か月を 30 日とし、彼女のタイミングで 3 か月をそれぞれ 29 日とし、その最初の期間に衰退期を迎え、最初の門では 177 日間衰退期を迎える。
16. そして彼女が出て行くとき、彼女は 3 か月間それぞれ 30 日間現れ、また 3 か月間それぞれ 29 日間現れる。
17. 夜には彼女は 20 日間、人間のように見え、昼は天国のように見え、彼女の光以外には何も存在しません。

第 79 章

1. そして今、我が子よ、私はあなたにすべてを示した。そして天のすべての星の法則は完成した。
2. そして彼は、これらのすべての法則を、日々の、また、すべての季節の、すべての年の、その発効の、そして、毎月と毎週に定められた秩序について、私に示しました。
3. そして、第六の門で起こる月の欠け。この第六の門で月の明かりは消え、その後、欠け始める。
4. そして、その季節の最初の門で起こる衰退は、177 日が経過するまで続き、週に従って計算すると、25 週と 2 日になります。
5. 彼女は、一周期の間に、太陽と星の順序からちょうど 5 日間遅れをとります。そして、あなたが見ているこの場所を横断したときです。
6. これが、彼らのリーダーである大天使ウリエルが私に示した、あらゆる発光体の絵とスケッチです。

第 80 章

1. そしてその頃、天使ウリエルは私に答えて言った。「見よ、エノクよ、私はあなたにすべてを見せた。私はあなたにすべてを明らかにした。あなたはこの太陽とこの月、天の星の指導者たちとそれらを回転させるすべての者たち、彼らの任務と時期と出発を見るであろう。
2. 罪人たちの時代には、年月は縮められ、彼らの子孫は土地や畑で遅れ、地上のすべてのものは変化し、定められた時に現れず、雨は止められ、天もそれを阻止する。
3. そのとき、地の果実は遅れ、その時期に実らず、木の果実もその時期に実らないであろう。
4. そして月は秩序を変え、定められた時刻に現れなくなる。
5. そしてその日には太陽が見え、夕方には大戦車の先端に乗って西へ旅立ち、光の秩序に一致するよりも明るく輝くでしょう。
6. そして、多くの星の長たちは定められた秩序を破り、軌道と任務を変え、定められた季節に姿を現さなくなる。
7. そして、星の秩序全体が罪人たちから隠され、地上の者たちの考えは彼らに関して迷い、彼らはそのすべての道から変えられ、そうです、彼らは迷って、彼らを神々とみなすでしょう。
8. そして、彼らに対して災いが増し加わり、すべてを滅ぼすような罰が彼らに下るであろう。

第 81 章

1. そして彼は私に言った。「エノクよ、これらの天の石板を観察し、そこに書かれていることを読み、一つ一つの事実に印をつけなさい。」
2. そして私は天の板を観察し、そこに書かれていたすべてのことを読み、すべてを理解し、人類のすべての行いと、地上にいるすべての肉なる子らの、遠い世代に至るまでの書物を読んだ。
3. そして直ちに私は、世界のすべての業を造られた永遠の栄光の王である偉大なる主を祝福し、主の忍

耐のゆえに主をほめたたえ、人の子らのゆえに主を祝福した。
4. そしてその後、私は言いました。「正義と善良のうちに死ぬ人は幸いである。その人については不正の書物は書かれておらず、その人に対しては審判の日も見つからないだろう。」
5. そして、あの七人の聖なる者たちは私を連れて来て、私の家の入口の前の地面に立たせ、私に言いました。「あなたの息子メトシェラにすべてを告げなさい。そしてあなたのすべての子供たちに、主の目に義なる者は一人もいないことを示しなさい。主は彼らの創造主であるからです。」
6. 一年の間、私たちはあなたをあなたの息子と共に残します。あなたが最後の命令を下し、あなたの子供たちに教え、それを彼らに記録し、あなたのすべての子供たちに証言するまでです。そして二年目に、彼らはあなたを彼らの中から連れ去るでしょう。
7. 心を強く保て。善人は善人に正義を告げ、義人は義人とともに喜び、互いに祝福を贈り合うからである。
8. しかし、罪人は罪人とともに死に、背教者は背教者とともに滅びる。
9. 正義を実践する者たちは、人々の行いのゆえに死に、不敬虔な者たちの行いのゆえに滅ぼされるであろう。」
10. そしてその日々、彼らは私に話しかけるのをやめ、私は世の主を祝福しながら私の民のところへ行きました。

第 82 章

1. そして今、我が息子メトセラよ、私はこれらすべてのことをあなたに語り、あなたのために書き留め、すべてをあなたに明らかにし、これらすべてに関する書物をあなたに与えた。だから、我が息子メトセラよ、あなたの父の手からその書物を保管し、それを世の世代に伝えるようにしなさい。
2. わたしは、あなたとあなたの子孫、そしてあなたの子孫に知恵を与えた。それは、彼らの考えを超えた知恵を、何世代にもわたって子孫に伝えるためである。
3. それを理解する者は眠らず、この知恵を学ぶために耳を傾けるであろう。そして、それを食べる者は良い食物よりも喜ぶであろう。
4. 義人は皆祝福されている。正義の道を歩み、罪人のように罪を犯さない者も祝福されている。太陽が天を横切り、30 日間、星の秩序の何千もの頭とともに門に出入りし、さらに 1 年の 4 つの部分を分割する 4 つの閏日が挿入され、彼らを導き、4 日間彼らとともに入る、彼らのすべての日々の計算において。
5. それらのせいで人々は誤りを犯し、一年の計算においてそれらを考慮に入れないであろう。まことに、人々は誤りを犯し、それらを正確に認識しないであろう。
6. これらは年の計算に属し、そこに永遠に記録されるものである。第一の門に一つ、第三の門に一つ、第四の門に一つ、第六の門に一つ。そして一年は三百六十四日で完了する。
7. そしてその記述は正確であり、記録された計算は正確である。なぜなら、光と月と祭りと年と日が、世界の全創造の主が天の軍勢を従わせたウリエルによって私に示され、啓示されたからである。
8. そして彼は、天の夜と昼を支配する力を持ち、太陽、月、星、そして円形の戦車で回転する天のあらゆる力によって人々に光を与える。
9. これらは星の秩序であって、それぞれの場所、季節、祭り、月ごとに定まるものである。
10. これらは彼らを導き、彼らが定められた時刻、定められた秩序、定められた季節、定められた月、定められた統治期間、定められた地位に入るように監視する者たちの名前である。
11. 一年を四つの部分に分ける四人の指導者が最初に登場し、その後に月を分ける十二人の指導者が登場します。三百六十日については、千の位を司る指導者が日を分割します。そして、四つの閏日については、一年を四つの部分に分ける指導者が登場します。
12. そして、千人隊長たちは、それぞれが隊列の後ろにいる隊長と隊長の間に割って入れられるが、その隊長たちが区分を行う。定められた年の四つの部分を区分する隊長たちの名は、ミルキール、ヘルエムレク、メルジャル、ナレルである。
13. そして彼らを率いる者たちの名前は、アドナルエル、イヤスーサエル、エロメエルである。この三人は教団の指導者たちに従う。
14. そして、一年を 4 つの部分に分けるステーションのリーダーに従う秩序の 3 つのリーダーに従うものがあります。
15. 年の初めに最初に起きて統治するメルケジャルは、タマーイニーと太陽と呼ばれ、統治期間中の統治期間は全部で 91 日です。
16. そしてこれらは、彼が統治する時代に地上で見られるであろう日々の兆候である。汗、暑さ、そして凪。そしてすべての木は実を結び、すべての木に葉がつき、小麦が収穫され、バラの花、野に咲くすべての花が咲く。しかし、冬の木々は枯れる。
17. そして、彼らの下にいる指導者の名前は次のとおりである。ベルカエル、ゼレブスエル、そして千人の長としてヒルヤセフと呼ばれる者が加わった。この指導者の統治の時代は終わった。
18. 彼の次の指導者はヘレムレクであり、輝く太陽と呼ばれ、彼の光の日々は全部で 91 日間です。
19. そして、これが彼の地上での日々の兆候である。焼けつくような暑さと乾燥、木々が実を実らせ、そのすべての果実が熟して実り、羊がつがいになって妊娠し、地のすべての果物が集められ、畑にあるすべてのものと酒ぶねが収穫される。これらのことは彼の統治の時代に起こる。

20. これらは、千人の長たちの名と階級と指導者たちである。ギダイジャル、ケエル、ヘエル。そして、彼らに加えられる千人の長の名はアスファルである。彼の統治の時代は終わった。

第 83 章

1. さて、我が息子メトセラよ、私はこれまで見た夢をすべてあなたに見せ、あなたの前でそれを語ろう。
2. 妻をめとる前に見た二つの幻は、一つはもう一つとは全く異なっていました。一つは私が文字を習っていた時の幻、もう一つはあなたの母をめとる前の幻で、恐ろしい幻を見ました。そして私はそれらについて主に祈りました。
3. 私が祖父マハラレルの家に横たわっていたとき、私は夢の中で天が崩れ落ちて吹き飛ばされ、地上に落ちていくのを見ました。
4. そしてそれが地に落ちたとき、私は地が大きな深淵に呑み込まれ、山々が山々の上に吊り下げられ、丘が丘の上に沈み、高い木々が根元から引き裂かれ、投げ落とされて深淵に沈んだのを見た。
5. すると、わたしの口に一つの言葉が浮かび、わたしは声を上げて叫んだ。「地球は滅びた。」
6. そして私の祖父マハラレルは、私が彼のそばに横たわっているのを起こして、私に言いました。「息子よ、なぜそんなに泣くのですか、なぜそんなに嘆くのですか？」
7. そして私は自分が見たすべての幻を彼に話しました、そして彼は私に言いました：「息子よ、あなたは恐ろしいものを見ました。あなたの夢の幻は、地球上のすべての罪の秘密に関する重大なものです。それは深淵に沈み、大いなる破壊によって滅ぼされるに違いありません。」
8. そして今、我が子よ、立ち上がって栄光の主に祈りなさい。あなたは信者なのですから、残りの者が地上に残るように、そして主が全地を滅ぼさないよう祈りなさい。
9. 息子よ、これらすべては天から地上に降りかかり、地上には大いなる破壊が起こります。
10. その後、私は立ち上がり、祈り、嘆願し、願い求め、私の祈りを世の代々に書き記しました。そして、私の息子メトセラよ、私はあなたにすべてを明らかにします。
11. そして私が下界に出て、天と、東から昇る太陽と、西に沈む月と、いくつかの星と、地球全体と、神が初めに知っていたすべてのものを見たとき、私は審判の主を祝福し、主を讃えた。主は太陽を東の窓から出させ、太陽は昇って天の面に昇り、示された道を進み続けたからである。

第 84 章

1. そして私は正義をもって両手を掲げ、聖にして偉大なる方を祝福し、私の口の息と肉の舌で語った。これは神が人の肉の子らのために造られたもので、彼らはそれを用いて話すことができた。神は彼らに息と舌と口を与え、それによって話させた。
2. 「主なる王よ、あなたは祝福されますように。あなたは偉大で力強い御方、天地万物の主、万王の王、全世界の神です。あなたの力と王権と偉大さは永遠に続き、あなたの支配は代々続きます。すべての天は永遠にあなたの王座であり、全地は永遠にあなたの足台です。」
3. あなたは万物を創造し、万物を支配しておられます。あなたにとって不可能なことは何もありません。知恵はあなたの玉座から離れることなく、あなたの御前から背を向けることもありません。あなたはすべてを知り、見、聞き、すべてを見通されます。あなたから隠されたものは何もありません。あなたはすべてを見通されるからです。
4. そして今、あなたの天の天使たちは罪を犯しており、あなたの怒りは大いなる審判の日まで人々の肉体に残ります。
5. そして今、神よ、主よ、偉大なる王よ、どうか私の祈りをかなえてください。地上に子孫を残してください。そして人類を全滅させないでください。そして地球を無人にして永遠の滅亡をもたらさないでください。
6. 主よ、今、あなたの怒りを引き起こした肉を地上から滅ぼしてください。しかし、正義と誠実の肉は永遠の種の植物として定着してください。そして、あなたのしもべの祈りからあなたの顔を隠さないでください、主よ。」

第 85 章

1. この後、私はもう一つの夢を見た。息子よ、その夢の一部始終をあなたに見せよう。
2. そしてエノクは声を張り上げて息子のメトセラに言った。「息子よ、私はあなたに語る。私の言葉を聞きなさい。あなたの父の夢の幻に耳を傾けなさい。」
3. あなたの母エドナを迎える前に、私は寝床で夢を見ました。すると、地から一頭の雄牛が出て来ました。その雄牛は白く、その後に雌牛が出て来ました。そしてこの雌牛と一緒に二頭の雄牛が出て来ました。一頭は黒く、もう一頭は赤でした。
4. そして、その黒い雄牛は赤い雄牛を突き刺し、地面の上を追った。すると、私は赤い雄牛をもう見ることができなくなった。
5. しかし、その黒い雄牛は成長し、その雌牛もそれと共に進みました。そして、その雄牛から多くの雄牛が生まれ、それらもそれに似ていて、それに従っているのを私は見ました。
6. そして、その雌牛、最初の雌牛は、最初の雄牛の前から去って、赤い雄牛を捜しに行ったが、見つけられず、大きな嘆き声をあげてその雄牛を捜した。

7. そして私は、最初の雄牛が彼女のところにやって来て彼女を静めるまで見守った。その時から彼女はもう泣かなくなった。
8. その後、彼女はもう一頭の白い雄牛を産み、その後に多くの雄牛と黒い雌牛を産んだ。
9. そして私は夢の中で、あの白い雄牛が成長して大きな白い雄牛になったのを見た。そして、その雄牛から多くの白い雄牛が生まれ、それらは雄牛に似ていた。そして、それらは多くの白い雄牛を産み始めたが、それらは次々と、自分たちに似ていた。

第 86 章

1. そして、私は眠っている間にまた目で見て、上空を見た。すると、見よ、一つの星が天から落ち、昇って、牛たちの間で草を食べていた。
2. そしてその後、私は大きな牛と黒い牛を見たが、彼らは皆、牛舎と牧草地と家畜を変え、互いに一緒に暮らし始めた。
3. また私はその幻の中で、天を見つめていた。すると見よ、多くの星が天から最初の星に降りてきて、その星々は牛の群れの中で雄牛となり、牛たちとともに草を食んだ。
4. そして私は彼らを見て、見ました、そして見よ、彼らは皆、馬のように陰部を出し、牛の雌を覆い始めました、そして彼らは皆妊娠し、象、ラクダ、ロバを産みました。
5. そして、すべての牛は彼らを恐れ、おののき、歯で噛みつき、食べ、角で突き刺し始めた。
6. そして彼らはさらにその牛を食い始めた。すると見よ、地のすべての子らは彼らの前で震え、震え上がり、彼らから逃げ始めた。

第 87 章

1. そして私は再び彼らが互いを突き刺し、食い尽くし始めるのを見た。そして地は大声で叫び始めた。
2. そして私は再び天を仰ぎ、幻の中で見ました。すると、白人のような生き物たちが天から出てきました。その場所から四人が出て、三人が彼らと共に出ました。
3. そして最後に出てきた三人は私の手をつかんで、私を地上の世代から連れ出し、高い所に引き上げ、地よりも高くそびえる塔を私に見せた。そしてすべての丘はそれより低かった。
4. そして、ある者が私に言った。「象やラクダ、ロバ、星、牛、それらすべてに起こるすべてのことを見るまで、ここに留まりなさい。」

第 88 章

1. そして、私は、最初に出てきた四人のうちの一人が、天から落ちてきた最初の星をつかみ、その手足を縛って、深淵に投げ込むのを見た。その深淵は狭く、深く、恐ろしく、暗いものであった。
2. すると彼らのうちの一人が剣を抜いて、それを象やらくだやろばに渡した。すると彼らは互いに打ち合い、全地は彼らのために震えた。
3. そして私がその幻を見ていると、出てきた四人のうちの一人が天から彼らを石で打ち、馬の肢体のような大きな星々をすべて集めて奪い、その手足を縛って地の深淵に投げ込んだ。

第 89 章

1. そして、その四人のうちの一頭が、あの白い雄牛のところへ行き、雄牛が恐れることなく秘密を教えた。雄牛は雄牛として生まれ、人間となり、自分のために大きな船を造ってその中に住んだ。そして、その船の中には三頭の雄牛が彼とともに住み、彼らは覆われていた。
2. そして、私は再び目を天に上げて、高い屋根と、その上に 7 つの水の川があるのを見た。そして、それらの川は、たくさんの水を伴って囲まれた場所へと流れ込んでいた。
3. そして私は再び見た。すると、その大きな囲い地の表面に泉が湧き出て、水が膨れ上がり、表面が上昇し始めた。そして私は、その囲い地の表面全体が水で覆われるのを見た。
4. そして、水と暗闇と霧はその上で増大し、私がその水の高さを見ると、その水はその囲い地の高さを超えて上昇し、その囲い地を越えて流れ、地面の上に留まりました。
5. そして、その囲い地の家畜はすべて集められ、私は、家畜がその水の中に沈み、呑み込まれ、死んでいくのを見た。
6. しかし、その船は水に浮かんでいたが、牛や象、ラクダ、ロバは他のすべての動物とともに底に沈んでしまったので、私はもはやそれらを見ることはできず、彼らは逃げることができず、死んで深みに沈んでいった。
7. そして私は再び幻の中で、あの急流がその高い屋根から取り除かれ、地の裂け目が平らになり、他の深淵が開かれるのを見た。
8. すると水はこれらの中に流れ落ち始め、ついには地が見え始めました。しかし、その器が地に着くと、暗闇は消えて光が現れました。
9. しかし、その器から、人の姿になった白い雄牛と、それといっしょに三頭の雄牛が出てきた。三頭のうち一頭はあの雄牛のように白く、一頭は血のように赤く、一頭は黒かった。そして、あの白い雄牛は彼らから去って行った。

10-27. ノアの死からエジプト脱出まで。

10. そして彼らは野の獣と鳥を産み始め、ライオン、トラ、オオカミ、イヌ、ハイエナ、イノシシ、キツネ、リス、ブタ、ハヤブサ、ハゲワシ、トビ、ワシ、

ワタリガラスといった様々な種族が生まれた。そしてその中に白い雄牛が生まれた。
11. そして彼らは互いに噛み合った。しかし、彼らの間に生まれた白い雄牛は野ろばと白い雄牛を生み、野ろばは増えていった。
12. しかし、その雄牛から生まれたものは、黒い猪と白い羊を生みました。最初の雄牛は多くの猪を生み、その羊は十二匹の羊を生みました。
13. そして、その十二匹の羊が成長すると、その一匹をロバに引き渡しました。すると、ロバはまたその羊をオオカミに引き渡しました。そして、その羊はオオカミの中で成長しました。
14. そして主は、その十一匹の羊を連れて来て、狼たちの中で一緒に暮らし、一緒に草を食ませられた。すると、羊たちは増えて、多くの羊の群れとなった。
15. そして狼たちは羊たちを恐れ始め、羊たちを虐げ、ついに羊たちの幼子たちを殺し、その子を水の多い川に投げ込んだ。しかし羊たちは幼子たちのことで大声で泣き叫び、主に不平を言い始めた。
16. そして、狼から救われた一匹の羊は逃げて野ろばのもとへ逃れました。そして私は、羊たちが嘆き、泣き、力の限り主に懇願する様子を見ました。すると羊たちの声に応えて、羊の主は高い所から降りてきて、羊たちのところへ来て、羊を牧しました。
17. そしてイエスは狼たちから逃れた羊を呼び寄せ、狼たちに対して羊に触れないように戒めるように言われた。
18. そして、主の言葉のとおり、羊は狼のところへ行きました。すると、別の羊がそれに出会い、一緒に行きました。そして、その二匹は一緒に行って、狼の集会に入り、彼らに話しかけ、今後は羊に触れないようにと警告しました。
19. そこで私は、狼たちが全力で羊を虐げているのを見た。羊は大声で叫んだ。
20. そして主は羊たちのところに来られ、羊たちは狼たちを打ち始めました。狼たちは嘆き始めましたが、羊たちは静かになり、すぐに鳴くのをやめました。
21. そして私は羊が狼の中から去っていくのを見た。しかし、狼の目は盲目にされ、狼たちは全力を尽くして羊を追って去って行った。
22. そして羊の主は彼らの指導者として彼らと共に進み、その羊は皆彼に従った。主の顔は輝き、栄光に満ち、見るも恐ろしいものであった。
23. しかし、オオカミたちは羊たちを海の方へ追いかけ始めました。
24. そして海は分かれ、水は彼らの目の前にあるこちら側とあちら側に立った。そして彼らの主は彼らを導き、彼らと狼たちの間に立った。
25. オオカミたちはまだ羊を見つけなかったので、海の真ん中に進み出て、オオカミたちは羊の後を追い、オオカミたちは羊を追って海の真ん中に走りました。
26. そして彼らは羊の主を見ると、その御前から逃げようとしたが、海は集まって、創造されたときのような状態となり、水は膨れ上がり、狼たちを覆うまでになった。
27. そして私は、羊を追いかけていた狼たちがみな死んで溺れ死ぬのを見た。

28-40. 砂漠におけるイスラエル、律法の授与、パレスチナへの入国。

28. しかし、羊たちはその水から逃げ出し、水も草もない荒野へ出て行きました。羊たちは目を開けて見えるようになりました。そして、羊の主が羊たちを牧して水と草を与え、羊たちが行って羊たちを導いているのを私は見ました。
29. そして、その羊たちはその高い岩の頂上に登り、羊の主はそれを彼らに送りました。
30. その後、私は彼らの前に立つ羊の主を見た。主の姿は大きく、恐ろしく、威厳に満ちていた。そして、すべての羊は主を見て、その顔の前で恐れた。
31. そして彼らは皆、イエスを恐れて震え上がり、一緒にいた羊たちに叫びました。「私たちは主の前に立つことも、主を見ることもできません。」
32. そして彼らを先導した羊たちは再び岩の頂上まで登ったが、羊たちは目が見えなくなり、彼が示した道から迷い始めた。しかし、その羊たちはそのことに気づかなかった。
33. そして、羊の主は彼らに対して非常に怒った。羊たちはそれを知り、岩の頂上から降りて羊たちのところへ行き、彼らの大多数が盲目になって迷い出ているのを見つけた。
34. 彼らはそれを見ると、その存在に恐れおののき、自分たちの囲い場に帰ろうとした。
35. そして、その羊は他の羊を連れて、迷い出た羊たちのところへ行き、それらを殺し始めました。羊たちはその存在を恐れたので、その羊は迷い出た羊たちを連れ戻し、羊たちは囲いに戻っていきました。
36. そして、私はこの夢の中で、羊が人間となり、羊の主のために家を建て、すべての羊をその家に置くまでを見ました。
37. そして、私は、自分たちを先導していたあの羊たちに出会ったこの羊たちが眠りに落ちるまで見ていた。また、大きな羊たちがみな死に、小さな羊たちがその代わりに起き上がり、彼らが牧草地に来て、水の流れに近づくまで見ていた。
38. すると、羊たちの指導者であった人間は、彼らから離れて眠ってしまった。そして、すべての羊はそれを捜し、大声で泣き叫んだ。
39. そして、彼らがその羊のために泣き叫ぶのをやめて、その水路を渡るまで私は見ました、そして、彼らを導いて眠った者たちの代わりに、二匹の羊が先導者として起き上がりました。
40. そして私は、羊たちが良い場所、楽しい栄光の地に来るまで見守り、羊たちが満ち足りるまで見守りました。そして、その家は彼らの中に楽しい地に建っていました。

41-50. 士師記の時代から神殿の建設まで。

41. そして、彼らの目はある時は開かれ、ある時は見えなくなったが、ついに別の羊が現れて彼らを導き、皆を連れ戻すと、彼らの目は開かれた。
42. そして犬やキツネやイノシシが羊を食い始めたが、羊の主は彼らの中からもう一匹の羊、すなわち雄羊を起こして羊を導いた。
43. そして、その雄羊は犬やキツネやイノシシを両側から突き飛ばし、ついにはそれらをすべて滅ぼしてしまいました。
44. そして、目が開かれた羊は、羊たちの中にいる雄羊を見ると、雄羊は栄光を捨て、羊たちを突き、踏みつけ、みだらな振る舞いを始めた。
45. そして羊の主は、その子羊を他の子羊のもとに遣わし、その子羊を、栄光を捨て去った雄羊の代わりに、雄羊として羊のリーダーとして立てられました。
46. そして、犬は羊のところへ行き、羊にだけ話しかけ、それを雄羊のように高め、羊の君主、リーダーにした。しかし、これらすべてのことの間、犬たちは羊を虐げていた。
47. そして最初の雄羊は二番目の雄羊を追いかけましたが、二番目の雄羊は立ち上がってその前から逃げました。そして私は、犬たちが最初の雄羊を倒すまで見ていました。
48. そして、二番目の雄羊が立ち上がり、小さな羊たちを導きました。
49. そして、その羊たちは成長し、増えていきました。しかし、犬、狐、猪は皆、その雄羊を恐れて逃げ去りました。そして、その雄羊は野獣を突き殺し、野獣はもはや羊たちの間で何の力も持たず、何も奪うこともありませんでした。そして、その雄羊は多くの羊を産み、眠りにつきました。小さな羊が雄羊の代わりに雄羊となり、羊たちの君主となり、指導者となりました。
50. そしてその家は大きく広くなり、羊たちのために建てられました。羊の主人のために、その家には高くて大きな塔が建てられました。その家は低かったのですが、塔は高くそびえ立ち、羊の主人はその塔の上に立ち、人々は彼の前に満杯の食卓を捧げました。

51-67. イスラエルとユダの二つの王国からエルサレムの滅亡まで。

51. また、わたしは、羊たちがまたも道に迷い、あちこち歩き回って、自分の家を捨て去るのを見た。そこで、羊の主は羊の中から羊たちを呼び出して羊たちのところに遣わしたが、羊たちは羊たちを殺し始めた。
52. そして、その一匹が助かり、殺されずに逃げ去り、羊たちに向かって大声で叫びました。羊たちはそれを殺そうとしましたが、羊の主はそれを羊たちから救い出し、私のところに連れて来て、そこに住まわせました。
53. そして、他の多くの羊をそれらの羊たちのところに遣わして、彼らに証しをさせ、彼らのために嘆かせさせた。
54. その後、彼らが主の宮と塔を捨て去ったとき、彼らは完全に堕落し、彼らの目は盲目になったのを私は見た。そして、羊の主が彼らの群れの中で多くの虐殺を引き起こし、羊たちがその虐殺を招き、主の地位を裏切るまでになったのを私は見た。
55. そして神は彼らをライオンやトラ、オオカミやハイエナ、キツネ、そしてあらゆる野獣の手に引き渡しました。すると野獣は羊を引き裂き始めました。
56. そして私は、神が彼らの家と塔を捨て、すべてをライオンの手に渡し、それらを引き裂いて食べ、すべての野獣の手に渡すのを見た。
57. そして私は力の限り大声で叫び、羊の主に訴え、羊がすべての野獣に食い尽くされたことを主に伝え始めた。
58. しかし、神はそれを見ても動じず、彼らが食い尽くされ、呑み込まれ、奪われたことを喜び、すべての獣の手に食い尽くされるままに放置した。
59. そしてイエスは七十人の羊飼いを呼び、羊を彼らに放して牧させ、羊飼いとその仲間に言われた。「今後は、各自が羊を牧しなさい。わたしが命じることを、すべて行いなさい。
60. そして、わたしは彼らを数えてあなたたちに引き渡し、そのうちのどれを滅ぼすべきかをあなたたちに告げる。あなたたちはその羊を滅ぼしなさい。」そしてイエスは彼らにその羊を引き渡した。
61. そしてイエスは別の人を呼び寄せて言われた。「羊飼いたちが羊に何をするか、よく注意して見なさい。彼らは私が命じた以上の羊を殺すでしょう。
62. そして、羊飼いたちによってもたらされるすべての過剰と破壊、彼らが私の命令に従ってどれだけのものを破壊したか、また彼ら自身の気まぐれに従ってどれだけのものを破壊したかを記録しなさい。羊飼い一人一人に対して、彼が引き起こすすべての破壊を記録しなさい。
63. そして、彼らが何人を滅ぼし、何人を滅ぼすために引き渡したかを、私の前に数えて読み上げなさい。そうすれば、私はこれを彼らに対する証拠とし、羊飼いたちのすべての行いを知り、彼らが何をしているかを理解し、私が彼らに命じた命令を彼らが守っているかどうかを知ることができるでしょう。
64. しかし、彼らはそれを知ることはないだろうし、あなたも彼らにそれを告げたり、彼らに警告したりしてはならない。ただ、羊飼いたちがそれぞれの時期にもたらす破壊をすべて各個人に対して記録し、それをすべて私の前に置くだけだ。
65. そして私は、羊飼いたちが季節になると羊を放牧し、命じられた以上の羊を殺したり滅ぼしたりし、その羊をライオンの手に引き渡すのを見た。

66. そしてライオンとトラは羊の大部分を食べ尽くし、イノシシもそれを食べ、塔を焼き払い、家を破壊した。
67. そして私は、あの塔のことで非常に悲しくなりました。羊の家が破壊され、その後、あの羊たちがあの家に入ったかどうか、私には見えなかったからです。

68-71. 天使の支配者の第一期 — エルサレムの破壊から捕囚からの帰還まで。

68. そして羊飼いとその仲間は、その羊を野獣に引き渡して食べさせました。そして、彼らはそれぞれ定められた数だけ羊を殺しました。彼らがそれぞれ何匹を殺したかは、お互いに記録に残されました。
69. そして彼らはそれぞれ規定以上に多くの羊を殺し、滅ぼした。そして私はそれらの羊のせいで泣き、嘆き始めた。
70. そして私は、その幻の中で、書き記す者を見た。彼は羊飼いたちが日々滅ぼしたすべてのことを書き記し、その書物全体を羊の主に実際に示し、彼らが行ったすべてのこと、彼らがそれぞれに取り除いたすべてのこと、そして彼らが滅ぼしたことすべてを記していた。
71. そしてその書物は羊の主の前で読まれ、主はその書物を手から取り、読み、封印して置いた。

72-77. 第二期 - キュロスの時代からアレクサンダー大王の時代まで。

72. そしてすぐに、私は羊飼いたちが 12 時間牧草を食べているのを見ました。すると、その羊のうちの 3 匹が引き返して来て、家に入り、その家から倒れていたものをすべて拾い上げ始めました。しかし、イノシシがそれを阻止しようとしましたが、できませんでした。
73. そして彼らは再び以前のように建て始め、その塔を建て上げた。そしてそれは高い塔と呼ばれた。そして彼らは再び塔の前にテーブルを置き始めたが、その上のパンはすべて汚れていて純粋ではなかった。
74. そして、これらすべてのことに関して、羊たちの目は盲目にされて何も見えなくなり、羊飼いたちの目も同様に盲目にされました。そして、羊飼いたちは羊を大量に殺すために羊飼いたちに引き渡しました。羊飼いたちは羊を足で踏みつけ、食べてしまいました。
75. そして羊の主は、すべての羊が野原に散らされて彼らに混じるまで、動かされずにいたが、彼らは羊を獣の手から救い出さなかった。
76. そして、この書物を書いた者は、それを携えて羊の主の前に立ち、それを示し、それを読み、彼らのために主に懇願し、彼らのために懇願した。彼は羊飼いたちの行いをことごとく主に示した。そして、羊飼いたち全員に対して、主の前で証言した。
77. そして彼はその本を手に取り、それを彼の傍らに置いて立ち去った。

第 90 章

1-5. 第三期 — アレクサンダー大王からギリシャ･シリア支配まで。

1. そして私は、このようにして三十五人の羊飼いが羊の牧場の世話をし、それぞれ最初の羊飼いと同じように牧場の仕事を終えたのを見た。そして他の羊飼いたちが羊たちを引き取って、それぞれの牧場の仕事を任せ、それぞれの牧場の仕事を任せた。
2. その後、私は夢の中で、すべての空鳥、鷲、はげたか、たこ、カラスが来るのを見た。しかし、鷲がすべての鳥を率いて、羊を食い尽くし、その目をえぐり出し、肉を食い尽くし始めた。
3. そして羊は、その肉が鳥に食べられてしまうと泣き叫びました。そして私は、羊を飼っている羊飼いのことを眠りながら見つめて嘆きました。
4. そして私が見ていると、羊たちは犬や鷲や鳶に食い尽くされ、肉も皮も筋も残らず、骨だけが残り、骨も地に落ち、羊の数は少なくなっていました。
5. そして私は、23 頭が牧草地の世話を引き受け、それぞれの期間に 58 回を完了するまで見守りました。

6-12. 第四期 — ギリシャ･シリア支配からマカバイ戦争まで。

6. しかし、見よ、その白い羊たちは子羊を運んでいた。そして、彼らは目を開けて見えるようになり、羊に呼びかけて叫び始めた。
7. 彼らは叫び求めたが、彼らの言うことに耳を傾けず、耳が聞こえず、目も全く見えなくなっていた。
8. そして私は、その夢の中で、カラスがその子羊たちの上に飛びかかり、その子羊の一匹を捕らえ、羊を打ち砕いて食べてしまうのを見た。
9. そして、私が見ていると、その子羊たちに角が生え、カラスは角を落とした。また、私が見ていると、その羊のうちの一匹に大きな角が生え、目が開けた。
10. そして、それが彼らを見ると、彼らの目が開き、羊に向かって叫んだ。すると雄羊たちはそれを見て、皆、そのところに走って行った。
11. しかし、これらすべてにもかかわらず、鷲やハゲワシやワタリガラスやトンビは、なおも羊を襲い、襲いかかって食べ続けました。羊はなおも黙っていましたが、雄羊は嘆き悲しんで叫びました。
12. そして、そのカラスはそれに戦いを挑み、その角を折り曲げようとしたが、それに勝つことはできなかった。

13-19. ユダヤ人に対する異邦人による最後の攻撃（13-15 と 16-18 は重複しています）。

13. そして私は、羊飼いや鷲やハゲワシやトビがやって来て、ワタリガラスに叫んで、その雄羊の角を折るように言った。彼らは雄羊と戦い、戦い、雄羊も彼らと戦い、助けが来るように叫んだ。
14. そして私は、羊飼いたちの名前を書き記して羊の主の御前に連れ上ったあの人が来て、羊を助け、すべてを羊に見せるのを見た。彼はあの雄羊を助けるために下って来たのである。
15. そして私は、羊の主が怒りをもって彼らのところに来るまで見ていました。そして、主を見た者は皆逃げ去り、皆、主の御前からその陰に隠れました。
16. 鷲、はげたか、ワタリガラス、トンビが皆集まってきた。また野の羊も皆一緒に来て、雄羊の角を折るために互いに助け合った。
17. そして私は、主の命令に従って書物を書いたその人を見た。彼は、最後の 12 人の羊飼いたちが引き起こした破壊についてその書物を開き、羊の主の前で、彼らが先人たちよりもはるかに多くのものを破壊したことを示した。
18. そして私は、羊の主が彼らのところに来て、怒りの杖を手に取り、地を打つと、地は裂け、すべての獣、空の鳥は羊の間から落ち、地に呑み込まれ、地は彼らを覆い尽くすのを見た。
19. そして私が見ていると、大きな剣が羊に与えられ、羊は野のすべての獣に向かって進み出て、これを殺そうとしたが、すべての獣と空の鳥は羊の前から逃げ去った。

20-27. 堕天使、羊飼い、背教者たちの審判。

20. そして私は、美しい地に王座が築かれ、羊の主がそこに座し、他の者が封印された書物を取り、羊の主の前でその書物を開いたのを見た。
21. そして主は彼らを最初の七人の白い者と呼び、彼らに、先頭の星から始めて、馬の肢体のような陰部を持つすべての星を主の前に連れてくるように命じた。彼らはそのすべてを主の前に連れてきた。
22. そして、イエスは、彼の前で書き記していた、あの七人の白い羊飼いの一人に言われた。「私が羊を引き渡した七十人の羊飼いたちを取り上げなさい。彼らは自分の権限で羊を連れて行き、私が命じた以上の羊を殺したのだ。」
23. そして見よ、彼らは皆縛られ、皆イエスの前に立っていた。
24. そして、まず星々に対して審判が下され、彼らは裁かれ、有罪とされ、断罪の所に送られ、火と炎と火の柱に満ちた深淵に投げ込まれた。
25. そして、その七十人の羊飼いたちは裁かれ、有罪とされ、火の深淵に投げ込まれました。
26. そしてそのとき、わたしは、地の真ん中に同じような深淵が開け、火に満ちているのを見た。そして、盲目の羊たちが連れてこられ、みな裁かれ、有罪とされ、この燃える深淵に投げ込まれ、焼かれた。この深淵はその家の右にあった。
27. そして私は、羊たちが燃え、その骨が燃えているのを見ました。

28-38. 新しいエルサレム、生き残った異邦人の改宗、義人の復活、救世主。

28. そして私は、彼らがその古い家を畳むのを見るために立ち上がった。彼らはすべての柱を運び出し、家の梁や装飾品もすべて同時に畳み、それを運び出してその土地の南の場所に置いた。
29. そして私は、羊の主が最初の家よりも大きく高い新しい家を携えて来て、それを最初の家が折り畳まれていた場所に建てたのを見た。その柱はすべて新しく、その装飾品も新しく、主が取り去られた最初の古い家よりも大きく、羊は皆その中にいた。
30. そして私は、残されたすべての羊と、地のすべての獣と、空のすべての鳥が、ひれ伏してその羊に敬意を表し、願い求め、すべてのことにおいてそれに従うのを見た。
31. そしてその後、以前私を引き上げた白い衣を着て私の手を捕らえた三人と、あの雄羊の手もまた私を捕らえ、裁きが行われる前に私を引き上げて、羊たちの真ん中に降ろしました。
32. そして、その羊はすべて白く、その毛は豊富で清潔であった。
33. そして、滅ぼされ追い払われたすべてのもの、野のすべての獣、空のすべての鳥がその家に集まり、羊の主は、彼らが皆良い子となって自分の家に帰ったので、大いに喜んだ。
34. そして私は、彼らが羊に与えられた剣を置いて、それを家に持ち帰り、主の御前で封印し、羊を皆その家に招き入れたが、家は彼らを留めなかったのを見た。
35. すると、彼らの目は皆開けて、良いものを見た。彼らの中に、見なかった者は一人もいなかった。
36. そして私はその家が大きくて広くて、非常に満ち溢れているのを見た。
37. そして私は、大きな角を持つ白い雄牛が生まれるのを見た。野のすべての獣と空のすべての鳥はそれを恐れ、いつも彼に祈りを捧げていた。
38. そして私は、彼らのすべての世代が変わるのを見た。彼らはみな白い雄牛になった。そのうちの最初のものは子羊になった。そしてその子羊は大きな獣になり、頭に大きな黒い角があった。そして羊の主は、その子羊とすべての牛を喜ばれた。 39. そして私は彼らの中で眠り、目が覚めてすべてを見た。
40. これは私が眠っている間に見た幻であり、私は目が覚めて正義の主を祝福し、栄光を帰しました。
41. それから私は大声で泣きました。そして、もう耐えられないほど涙が止まりませんでした。私が見た時、私が見たもののために涙が流れ出ました。すべては起こって成就し、人々のすべての行為がその順序で私に示されたからです。

42. その夜、私は最初の夢を思い出し、その夢のせいで泣き、苦しみました。なぜなら、私はその夢を見たからです。

第 91 章

1.「さあ、我が子メトセラよ、あなたの兄弟たちを皆私のところに呼び寄せ、あなたの母の息子たちを皆私のところに集めなさい。御言葉が私を呼び、霊が私に注がれている。私はあなたに永遠に起こるすべてのことをあなたに示すであろう。」
2. そこでメトセラは行って、兄弟たち全員を呼び寄せ、親族を集めた。
3. そして彼はすべての義なる子らに語り、こう言った。「エノクの子らよ、父の言葉をことごとく聞き、わたしの口の声に正しく従いなさい。愛する者たちよ、わたしはあなたたちに勧めて言う。義を愛し、その中に歩みなさい。」
4. 息子たちよ、二心をもって正義に近づいてはならない。二心のある者たちと交わってはならない。正義の中を歩め。そうすれば、正義はあなたたちを良い道に導き、正義はあなたたちの友となる。
5. わたしは、暴虐が地上に増し、大いなる懲罰が地上に執行され、あらゆる不義が終わることを知っている。まことに、不義は根こそぎにされ、その全体は破壊される。
6. そして地上では再び不義が遂げられ、あらゆる不義と暴力の行為、そして違反行為が二倍に蔓延するであろう。
7. そして、罪と不義と冒涜と、あらゆる行為における暴力が増加し、背教と違反と汚れが増加すると、これらすべてに対して天から大いなる懲罰が下り、聖なる主が怒りと懲罰をもって地上に裁きを執行するであろう。
8. その日には、暴虐は根こそぎにされ、不義と欺瞞の根も断ち切られ、それらは天の下から根絶される。
9. そして異教徒の偶像はすべて放棄され、神殿は火で焼かれ、彼らは全世界から除去され、火の審判に投げ込まれ、怒りと悲惨な審判の中で永遠に滅びるであろう。
10. 義人は眠りから目覚め、知恵が生まれて彼らに与えられる。
11. そしてその後、不義の根は断ち切られ、罪人たちは剣によって滅ぼされる。あらゆる場所で冒涜者たちは断ち切られ、暴力を企てる者たちと冒涜を犯す者たちは剣によって滅ぼされる。
12. そしてその後に、第八週として正義の週があり、それには剣が与えられ、抑圧者たちに正義の裁きが下され、罪人たちは正義の者の手に引き渡される。
13. そしてその終わりに彼らは義によって家々を獲得し、大王のために永遠に栄光の宮が建てられるであろう。
14. そして、すべての人々は正しい道を見つめるであろう。そしてその後、第九週には、正しい裁きが全世界に明らかにされ、不敬虔な者たちの行いはすべて地上から消え去り、世界は滅びのために記録されるであろう。
15. そしてその後、第七部の第十週に、永遠の大審判が行われ、その中で神は天使たちの間で復讐を執行するであろう。
16. そして最初の天は去って消え去り、新しい天が現れ、天のすべての力が七倍の光を与えるであろう。
17. そしてその後、永遠に数え切れないほどの週が続くであろう。そしてすべては善良で正義に満ち、罪は永遠に語られることはないであろう。
18. 息子たちよ、今、わたしはあなたたちに告げ、義の道と暴力の道を示す。まことに、わたしはそれらを再びあなたたちに示し、これから何が起こるかをあなたたちに知らせよう。
19. それで今、息子たちよ、私に耳を傾け、正義の道を歩み、暴力の道を歩んではならない。不義の道を歩む者は皆、永遠に滅びるからである。

第 92 章

1. エノクによって書かれた書——エノクは確かにこの完全な知恵の教えを書き記した。それはすべての人に称賛され、地上に住むすべてのわたしの子孫のために、全地の裁き人となる。そして、正義と平和を守る未来の世代のためにも。
2. 時のために心を騒がせてはならない。聖にして偉大なる神が、すべての事に日を定めておられるからである。
3. そして義人は眠りから目覚め、立ち上がって正義の道を歩むであろう。そして、彼のすべての道と交わりは永遠の善と恵みの中にあるであろう。
4. 主は義人に恵みを施し、永遠の正義を与え、また、善と義に恵まれる力を与え、永遠の光の中を歩むであろう。
5. そして罪は永遠に暗闇の中で滅び、その日から永遠に見られなくなります。

第 93 章

1. その後、エノクは書物から教えを説き、またそれを読み始めた。エノクは言った。「義の子らと世の選民、そして義の植物について、わたしはこれらのことを語る。まことに、わたしの息子たちよ、わたしエノクはあなたたちに告げよう。
2. それは、天の幻の中で私に現れたもの、聖なる天使の言葉を通して私が知ったもの、そして天の石板から私が学んだものに従ってです。」
3. そしてエノクは書物から物語り始めて言った。「私は第一週の七番目に生まれました。裁きと正義がまだ続いていた頃です。」
4. わたしの後、第二週には大きな悪が起こり、欺瞞が芽生えます。そして、その中に最初の終わりがあります。そして、その中に人が救われます。そして、

それが終わると、不義が芽生え、罪人のために律法が制定されます。
5. そしてその後、第三週の終わりに、一人の人が義なる裁きの木として選ばれ、その子孫が永遠に義の木となるであろう。
6. そしてその後、第四週の終わりに、聖なる者と義なる者の幻が見られ、すべての世代のための律法と彼らのための囲い地が作られるであろう。
7. そしてその後、第五週の終わりに、栄光と支配の家が永遠に建てられるであろう。
8. そして、第六週の後、そこに住む者は皆盲目となり、彼らの心は皆、不敬虔に知恵を捨て去る。そして、そこに一人の人が昇り、その終わりに主権の家は火で焼かれ、選ばれた根の全種族は追い散らされる。
9. そしてその後第七週に背教の世代が起こり、その行いは多くなり、その行いはすべて背教となるであろう。
10. そしてその終わりに、永遠の正義の植物から選ばれた義人が選ばれ、神のすべての創造物に関する七つの教えを受けるであろう。
11. すべての人のうち、聖なる方の御声を聞いて、心を煩わせない者がいるだろうか。その御心について思いを巡らすことのできる者がいるだろうか。天の御業をすべて見通すことのできる者がいるだろうか。
12. では、どうして天を見ることができる者が存在するのでしょうか。また、天にあるものを理解し、魂や霊を見てそれを語り、昇ってそのすべての結末を見て、それについて考えたり、同じようにしたりできる者がいるのでしょうか。
13. すべての人のうちで、地の広さや長さを知ることのできる者はだれか。また、それらすべての寸法を示された者はだれか。
14. それとも、天の長さや、その高さの大きさ、それが何の上に築かれているのか、星の数はどれほど多いのか、そしてすべての光がどこに止まっているのかを識別できる者がいるだろうか。

第 94 章

1. 息子たちよ、今、私はあなた方に言います。正義を愛し、その中に歩みなさい。正義の道は受け入れられるに値するからです。しかし、不正義の道は突然滅ぼされ、消え失せます。
2. そして、ある世代の特定の人々には、暴力と死の道が明らかにされるであろう。しかし、彼らはそれを遠ざけ、それに従おうとはしないであろう。
3. それで今、私はあなた方義人に言います。悪の道や死の道を通ってはいけません。それに近づいてはなりません。そうでないと、あなた方は滅ぼされてしまいます。
4. しかし、あなたがたは正義と選ばれた命とを求め、それを選び、平和の道を歩みなさい。そうすれば、あなたがたは生き、繁栄するでしょう。
5. 私の言葉を心の思いにしっかりと留め、心から消し去らないようにしてください。罪人たちが知恵を悪く求めるように人々を誘惑し、知恵に場所を与えず、いかなる誘惑も減らさないことを私は知っているからです。
6. 不義と抑圧を築き、偽りを土台とする者たちに災いあれ。彼らは突然倒され、平安を得ることはない。
7. 罪を犯して家を建てる者たちは災いである。彼らはそのすべての基礎から倒され、剣によって倒れる。裁きによって金銀を得る者たちは、たちまち滅びる。
8. あなたたち富める者たちよ、あなたたちは災いである。あなたたちは自分の富を信頼したが、あなたたちはその富から離れ去る。あなたたちが富んでいた時代に、いと高き方を心に留めなかったからだ。
9. あなたたちは冒涜と不義を犯し、虐殺の日と暗黒の日と大いなる審判の日のために準備を整えた。
10. わたしはあなたたちにこう語り、宣言する。あなたたちを創造した者は、あなたたちを打ち倒すだろう。そして、あなたたちの没落には慈悲はないだろう。そして、あなたたちの創造主は、あなたたちの破滅を喜ぶだろう。
11. そして、その日には、あなたたちの義人たちは罪人や不信心者たちの恥辱となるであろう。

第 95 章

1. ああ、わたしの目が水の雲となって、あなたのために泣き、わたしの涙を水の雲のように流し、わたしの心の悩みから解放されたらよいのに。
2. あなたたちが悪事と侮辱を行うことを許したのはだれですか。罪人たちよ、裁きはあなたたちに臨みます。
3. 義人たちよ、罪人たちを恐れるな。主は再び彼らをあなたたちの手に引き渡し、あなたたちの望みどおりに彼らに裁きを下すであろう。
4. 取り消すことのできない呪いの言葉を激しく浴びせるあなた方に災いあれ。あなた方の罪のゆえに、癒しはあなた方から遠く離れるであろう。
5. 隣人に悪行で報いる者には災いあれ。あなたたちは自分の行いに応じて報いを受けるであろう。
6. 偽証する証人よ、そして不正を裁く者たちよ、あなたたちは災いを受けるであろう。なぜなら、あなたたちは突然滅びるからである。
7. 罪人たちよ、あなたたちは災いを受けます。あなたたちは正しい人を迫害するからです。あなたたちは不正のために引き渡され、迫害され、そのくびきがあなたたちに重くのしかかるでしょう。

第 96 章

1. 義人たちよ、希望を持ちなさい。突然、罪人たちがあなたたちの前で滅び、あなたたちは望みどおりに彼らを支配するでしょう。

2. そして罪人たちの苦難の日に、あなたたちの子供たちは鷲のように舞い上がり、あなたたちの巣はハゲタカよりも高くなるだろう。そしてあなたたちは昇って地の裂け目に入り、永遠に岩の裂け目を、不義なる者たちの前の巣穴のようにするだろう。そしてサイレンたちはあなたたちのことでため息をつき、泣くだろう。
3. それゆえ、苦しんでいる者たちよ、恐れることはない。癒しがあなたたちに与えられ、明るい光があなたたちを照らし、安息の声が天から聞こえるであろうから。
4. 罪人たちよ、あなたたちは災いを受けます。あなたたちの富は、あなたたちを義人のように見せますが、あなたたちの心は、あなたたちが罪人であることを自覚しています。そして、この事実は、あなたたちの悪行の証拠として、あなたたちを責める証拠となるのです。
5. 最上の小麦を食い尽くし、大杯で酒を飲み、力ずくで卑しい者を踏みつけるあなたたちに災いあれ。
6. あらゆる泉から水を飲むあなたたちに災いあれ。あなたたちは突然、消耗し、枯れ果ててしまう。なぜなら、あなたたちは命の泉を捨てたからだ。
7. 不義と欺瞞と冒涜を行うあなたたちに災いあれ。それはあなたたちの悪に対する罪の記念となる。
8. 力ある者たちよ、汝らは災いを受ける。力をもって義人を虐げる者よ。汝らの滅びの日が来る。その日には、義人に多くの祝福の日が訪れる。汝らの裁きの日に。

第 97 章

1. 義人たちよ、罪人たちは恥となり、不義の日に滅びることを信じなさい。
2. 罪人たちよ、知れ。いと高き方はあなたがたの滅びを心に留めておられ、天使たちもあなたがたの滅びを喜んでいるのだ。
3. 罪人たちよ、あなたたちはどうするつもりなのか。そして、正しい人々の祈りの声を聞くとき、審判の日にどこへ逃げるのか。
4. まことに、あなたたちは彼らと同じ運命を辿るであろう。彼らに対して、この言葉は証言となるであろう。「あなたたちは罪人たちの仲間であった。」
5. その日には、義人の祈りが主に届き、あなたたちに裁きの日が来るであろう。
6. そして、あなたたちの不義の言葉はすべて、偉大なる聖なる者の前に読み上げられ、あなたたちの顔は恥で覆われ、彼は不義に基づくすべての行為を拒絶するでしょう。
7. 中洋と陸地に住む罪人たちよ、あなたたちは災いを受けます。彼らの記憶はあなたたちにとって災いとなります。
8. 不義によって銀や金を手に入れて、「我々は富を得て財産を持ち、望んだものは何でも手に入れた」と言うあなた方は災いである。
9. さあ、今、私たちは計画どおりに行動しましょう。私たちは銀を集め、私たちの家には農夫がたくさんいます。私たちの穀倉は水でいっぱいです。
10. まことに、あなたがたの偽りは水のように流れ去り、あなたがたの富は留まらず、すぐにあなたがたから消え去る。あなたがたはそれをすべて不義によって得たからであり、あなたがたは大いなる呪いに引き渡されるからである。

第 98 章

1. そして今、私はあなた方に誓います。賢い人にも愚かな人にも、あなた方は地上で多様な経験をするでしょう。
2. あなたたちは女よりも多くの飾り物を着け、処女よりも多くの華やかな衣服を着るであろう。王位と威厳と権力と、銀と金と紫の衣と、華やかさと食物とが水のように注ぎ出されるであろう。
3. それゆえ、彼らは教えと知恵に欠け、それによって彼らの財産もろとも滅び、彼らの栄光と輝きのすべてもろとも、恥辱と虐殺と極度の貧困のうちに、彼らの霊は火の炉に投げ込まれるであろう。
4. 罪人たちよ、私はあなたたちに誓う。山が奴隷になったのではなく、丘が女のはしためになったのではないように、罪は地上に送られたのではなく、人間が自ら罪を創造したのだ。そして、罪を犯す者は大いなる呪いの下に倒れるのだ。
5. 不妊は女に与えられたのではなく、彼女自身の手の行いのせいで、子供を持たずに死ぬのである。
6. 罪人たちよ、私は聖なる偉大なる者にかけて誓った、あなたたちのすべての悪行は天に明らかにされ、あなたたちの抑圧的な行為は一つも覆い隠されることはなく、隠されることもない。
7. また、すべての罪は毎日、いと高き方の御前に天に記録されていることを、知らないとか見ていないとか、霊の中で思ってはならないし、心の中で言ってはならない。
8. 今からは、あなたがたが行っているすべての抑圧は、あなたがたの審判の日まで毎日記録されることを知るであろう。
9. 愚かな者たちよ、あなたたちは災いを受けるであろう。あなたたちは愚かさによって滅びるであろう。そしてあなたたちは賢者に対して罪を犯すので、あなたたちは幸福を得ることができないであろう。
10. そして今、あなたたちは滅びの日のために備えられていることを知りなさい。罪人たちよ、生きることを望みはしない。あなたたちは去って死ぬ。あなたたちは贖いを知らないからだ。あなたたちは大いなる審判の日、苦難の日、あなたたちの霊にとっての大いなる恥辱の日のために備えられているのだ。
11. 心の強情な者たちよ、悪事を働き、血を食べる者たちよ、あなたたちは災いを受ける。あなたたちはどこから良いものを食べ、飲み、満腹するのだろうか。いと高き主が地上に豊かに与えてくださったす

べての良いものから。それゆえ、あなたたちには平安はないであろう。
12. 不義の行いを愛するあなたたちに災いあれ。なぜ、あなたたちは自分たちの幸福を願うのか。あなたたちは義人たちの手に引き渡され、彼らはあなたたちの首を切り落とし、あなたたちを殺し、あなたたちに慈悲をかけないことを知りなさい。
13. 義人の苦難を喜ぶあなたたちに災いあれ。あなたたちのために墓は掘られないのだ。
14. 正しい者の言葉を軽んじるあなたたちに災いあれ。あなたたちには命の希望はないであろう。
15. 偽りと不敬虔な言葉を書き記すあなたたちに災いあれ。彼らは偽りを書き記すが、それは人々に聞かせるためであり、隣人に対して不敬虔な行いをさせるためである。
16. それゆえ、彼らには平安はなく、突然の死を迎えることになる。

第 99 章

1. 不敬虔な行いをし、偽りを誇り、それを称賛するあなたたちに災いあれ。あなたたちは滅び、幸福な人生は手に入らないだろう。
2. 正義の言葉を曲げ、永遠の律法を破り、罪人ではなかったものに変貌する者たちに災いあれ。彼らは地上で踏みにじられるであろう。
3. その日には、義人たちよ、祈りを記念としてささげ、それを天使たちの前に証言として立てよ。そうすれば、天使たちは罪人たちの罪を、いと高き方の前に記念として立てるであろう。
4. その日には、諸国の民が動揺し、滅びの日に諸国の民の家族が立ち上がるであろう。
5. その日には、貧しい者たちが出て行って、その子供たちを連れ去り、彼らを捨てて、その子供たちを滅ぼすであろう。彼らは乳飲み子さえも捨てて、自分のところに戻らず、愛する者たちを憐れまないであろう。
6. 罪人たちよ、私はもう一度あなたたちに誓います。罪は絶え間ない流血の日のために用意されているのです。
7. そして、石や金、銀、木、石、土でできた墓の像を拝む者たち、また、汚れた霊や悪魔、知識に従わないあらゆる種類の偶像を拝む者たちは、彼らから何の助けも得られないであろう。
8. 彼らはその心の愚かさのために不信心となり、その心の恐れと夢の中の幻によってその目は盲目となる。
9. これらのことを通して、彼らは不信心で、恐れおののくであろう。彼らはすべての仕事を偽りのうちに行い、石を拝んだからである。それゆえ、彼らは一瞬のうちに滅びるであろう。
10. しかし、その日には、知恵の言葉を受け入れてそれを理解し、いと高き方の道を守ってその義の道を歩み、不信心な者とともに不信心にならない人々は幸いである。彼らは救われるからである。
11. 隣人に悪を広めるあなたに災いあれ。あなたたちはシェオルで殺されるであろう。
12. あなたたち欺瞞と偽りの計りごとをする者、また地上に苦い思いを抱かせる者たちに災いあれ。彼らはそれによって完全に滅ぼされるであろう。
13. 他人の悲惨な労働によって家を建てるあなたたちに災いあれ。その建築材料はすべて罪のレンガと石である。あなたたちには平安はないだろうとわたしは言う。
14. 先祖から受け継いだ永遠の遺産と分別を拒み、偶像を追い求める者たちに災いあれ。彼らには安息がない。
15. 不義を働き、圧制に加担し、大いなる審判の日まで隣人を殺す者たちに災いあれ。
16. 主はあなたがたの栄光を打ち砕き、あなたがたの心に苦悩をもたらし、激しい憤りを起こされ、あなたがたをことごとく剣で滅ぼされる。そして、すべての聖なる者、正しい者は、あなたがたの罪を思い出すであろう。

第 100 章

1. その日には、同じ場所で父親も息子も共に打たれ、兄弟も互いに殺され、川がその血で流れるまで続くであろう。
2. 人は自分の息子や孫を殺すのを止めず、罪人は自分の尊敬する兄弟を殺すのを止めず、夜明けから日没まで彼らは互いに殺し合う。
3. そして馬は罪人たちの血に胸まで浸かり、戦車はその高さまで沈むであろう。
4. その日には、天使たちが隠れた場所に降りて、罪を犯す者全員を一つの場所に集め、いと高き方がその審判の日に立ち上がり、罪人たちに大いなる裁きを執行するであろう。
5. そして、すべての正義と聖なる者たちの上に、神は聖天使の中から守護者を任命し、彼らを瞳の中の瞳のように守らせ、すべての悪とすべての罪を終わらせるまで、正義の者たちは長い眠りに就いても、恐れるものは何もない。
6. そして、そのとき、地上の子らは、賢者が安全であるのを見て、この書物のすべての言葉を理解し、彼らの富が罪を打ち破って彼らを救うことはできないことを認識するであろう。
7. 罪人たちよ、あなたたちは災いを受けます。あなたたちは義人を苦しめ、火で焼き尽くすのです。あなたたちは自分の行いに応じて報いを受けるでしょう。
8. 心の強情な者たちよ、悪事を企てようと目を覚ましている者たちよ、あなたたちに災いが臨む。それゆえ、あなたたちを助ける者はいないであろう。
9. 罪人たちよ、あなたたちは災いを受けます。あなたたちの口の言葉のゆえに、またあなたたちの不敬

虔な手による行いのゆえに、あなたたちは火よりも燃え盛る炎の中で焼かれるのです。
10. そして今、あなたたちは地上で正しい者たちに裁きを執行するがゆえに、神は天使たちから天においてあなたたちの行いについて尋ねられ、太陽と月と星からあなたたちの罪について尋ねられるであろうことをあなたたちは知るべきである。
11. そして、神はあらゆる雲、霧、露、雨をあなたに対して証言させるために召集される。それらはすべて、あなたたちのせいであなたたちの上に降りることを止められ、あなたたちの罪を思い出すであろう。
12. それで今、雨に贈り物を与えて、それがあなたの上に降りることを妨げないようにしなさい。また露にも、あなたがたから金や銀をもらって降りるようにしなさい。
13. 霜と雪がそれに伴う寒気を伴い、吹雪がそれに伴うあらゆる災いを伴ってあなた方に降りかかるとき、その日にはあなた方はそれらの前に立つことができないであろう。

第 101 章

1. 天の子らよ、天といと高き方のあらゆる業を観察し、神を畏れ、神の前で悪を行ってはならない。
2. もし神があなたたちのせいで天の窓を閉じ、雨や露が地上に降らないようにされたら、あなたたちはどうするつもりですか。
3. あなたがたの行いのゆえに神があなたがたに怒りを下さるとしても、あなたがたは神に祈ることはできない。あなたがたは神の義に対して高慢で傲慢な言葉を語ったからである。それゆえ、あなたがたには平安がないであろう。
4. あなたがたは船乗りたちが、波に翻弄され、風に揺さぶられ、ひどい苦難に遭っているのを見ないのか。
5. それゆえ、彼らは自分たちの大切な財産をすべて海に流してしまうことを恐れ、海が自分たちを飲み込み、その中で滅びるであろうという悪い予感を心に抱いているのです。
6. 海とそのすべての水、そのすべての動きは、いと高き方の作品ではないか。神はその行為に限界を設け、すべてを砂で囲まれたではないか。
7. 主の戒めによって、海は恐れて干上がり、その中の魚も、その中にいるものもみな死ぬ。しかし、地上の罪人たちは主を恐れない。
8. かれは天と地と、その間にあるすべてのものを創造されたではないか。かれは地と海に動くすべてのものに理解と英知を授けられた。
9. 船乗りたちは海を恐れないだろうか。しかし罪人たちは至高者を恐れない。

第 102 章

1. 神があなたたちに激しい火を下す日々に、あなたたちはどこへ逃げるのか。どこに救いを見出すのか。神があなたたちに対して御言葉を投げかける時、あなたたちは恐れおののかないのか。
2. そしてすべての光は大きな恐怖に襲われ、全地は恐れおののき、震え、不安に襲われるでしょう。
3. そしてすべての天使は命令を実行し、大いなる栄光の御前から身を隠そうとするだろう。そして地球の子らは震え震えるだろう。そしてあなたたち罪人は永遠に呪われ、あなたたちには平安はないだろう。
4. 正義の魂たちよ、恐れるな。正義のうちに死んだ者たちよ、希望を持ち続けよ。
5. あなたの魂が悲嘆のうちに冥府に落ちても、またあなたの肉体があなたの人生においてあなたの善良さに見合った結果を得られなかったとしても、悲しんではならない。むしろ、罪人たちの審判の日、呪いと懲罰の日を待ちなさい。
6. しかし、あなたがたが死ぬとき、罪人たちはあなたがたについて言う。「私たちが死ぬように、義人も死ぬ。そして、彼らはその行いに対して何の利益を得るというのか。」
7. 見よ、彼らも我々と同じように悲しみと暗闇の中で死んでいく。彼らに我々より何の得があるというのか? 今から我々は平等だ。
8. 彼らは何を受け、永遠に何を見るのでしょうか。見よ、彼らもすでに死に、今後永遠に光を見ることはないのです。
9. 罪人たちよ、わたしはあなたたちに言います。あなたたちは食べて飲んで、奪って、罪を犯して、人の裸をはぎ取って、富を得て、良い日々を過ごすことには満足しています。
10. あなたたちは、義人たちの最後がどのようになるか、また、彼らの死に至るまでいかなる暴力も見られないことを見たことがあるか。
11. 「それにもかかわらず、彼らは滅び、存在しなかったかのようになり、彼らの霊は苦難のうちに陰府に下った。」

第 103 章

1. それゆえ、今、私は正義のあなたたちに、支配する偉大で尊敬され、全能なる方の栄光にかけて、そしてその偉大さにかけて、あなたたちに誓います。
2. 私は神秘を知っています。そして天の石板を読み、聖書を見て、そこに書かれ、それらについて刻まれているものを見つけました。
3. 彼らのためにすべての善と喜びと栄光が用意され、正義のうちに死んだ人々の霊のために記され、あなたの労働の報酬として多くの善が与えられ、あなたの運命は生きている人々の運命をはるかに超えるものとなるでしょう。

4. そして、正義のうちに死んだあなたたちの霊は生き、喜びにあふれ、彼らの霊は滅びることなく、彼らの記念は偉大なる者の御前から世のあらゆる世代にまで残されるであろう。それゆえ、もはや彼らの侮辱を恐れることはない。
5. 罪人たちよ、あなたたちが死ぬとき、あなたたちが自分の罪の富を負ったまま死ぬとき、あなたたちと同じような人々があなたたちについてこう言うならば、「罪人たちは幸いだ、彼らは自分のすべての生涯を見通した。」
6. 彼らは繁栄と富の中で死んでいき、その生涯で苦難や殺人に遭うこともなく、名誉のうちに死んでいき、生きている間に裁きを受けることもなかった。
7. 彼らの魂は冥府に下ろされ、大いなる苦難の中で惨めになることを、あなた方は知るべきである。
8. そして、あなたたちの霊は暗闇と鎖と燃える炎の中へと入り、そこでは悲惨な裁きが下される。そして、その大いなる裁きは、世のあらゆる世代に及ぶ。あなたたちは災いを受けるであろう。あなたたちは平安を得ないであろう。
9. 生きている正義の人や善良な人に対して、こう言ってはならない。「私たちは苦難の日々に苦労し、あらゆる困難を経験し、多くの災難に遭い、滅ぼされ、数は少なくなり、精神も弱くなってしまった。
10. そして、私たちは滅ぼされ、一言も助けてくれる人がいませんでした。私たちは拷問され、滅ぼされ、日々の生活を希望することさえありませんでした。
11. 私たちは頭となることを望みましたが、尾になってしまいました。私たちは苦労して働きましたが、その苦労に満足することはありませんでした。私たちは罪人や不義な者たちの餌食となり、彼らは私たちに重い軛を負わせました。
12. 彼らは我々を憎み、我々を打ちのめし、我々を支配した。そして、我々を憎む者たちに我々は屈服したが、彼らは我々を憐れんではくれなかった。
13. わたしたちは彼らから逃れて安息を得たいと願いましたが、彼らから逃れて安全に暮らせる場所は見つかりませんでした。
14. わたしたちは苦難の中で支配者たちに不平を言い、わたしたちを食い尽くす者たちに対して叫びました。しかし彼らはわたしたちの叫びに耳を傾けず、わたしたちの声に耳を傾けようともしませんでした。
15. そして彼らは、私たちを略奪し、食い尽くし、少数にした者たちを助け、その圧制を隠し、私たちを食い尽くし、追い散らし、殺害した者たちのくびきを私たちから取り除かず、その殺害を隠し、私たちに対して手を上げたことを忘れた。

第 104 章

1. 私はあなたたちに誓います。天国では天使たちが偉大なる方の栄光の前にあなたたちを永遠に覚えており、あなたたちの名前は偉大なる方の栄光の前に書き記されています。
2. 希望を持ちなさい。あなた方はかつて病気や苦難によって恥をかかされましたが、今は天の光のように輝き、輝き、人々に見られ、天の門があなた方に開かれるでしょう。
3. そして、叫んで、裁きを叫びなさい。そうすれば、それはあなたに現れるでしょう。あなたのすべての苦難は、支配者たちと、あなたを略奪した者たちを助けたすべての者たちに降りかかるからです。
4. 希望を持ちなさい。そして希望を捨てないでください。あなたたちは天使たちと同じように大きな喜びを得るでしょう。
5. あなたたちは何をしなければならないのか？大審判の日に隠れる必要はなく、罪人として見破られることもない。そして永遠の審判は、この世のあらゆる世代にわたってあなたたちから遠ざかるであろう。
6. 義人たちよ、今、罪人たちが自分たちの道で力をつけ、繁栄しているのを見ても、恐れてはならない。彼らと仲間になってはならない。彼らの暴力から遠ざかりなさい。あなたたちは天の軍勢の仲間となるであろうから。
7. そして、あなたたち罪人は言う。「私たちの罪がすべて調べられて記録されるわけではない」。それでも、彼らはあなたたちの罪を毎日すべて記録するでしょう。
8. そして今、私はあなた方に、光と闇、昼と夜があなたのすべての罪を見ていることを示します。
9. 心の中で不信心であってはならない。偽りを言ってはならない。また、正しい言葉を変えてはならない。聖なる偉大な方の言葉を偽りであると非難してはならない。また、偶像を顧みてはならない。なぜなら、あなた方の偽りと不信心はすべて、正義ではなく、大いなる罪につながるからである。
10. そして今、私はこの奥義を知っています。すなわち、罪人たちは正義の言葉をいろいろな方法で変えたり曲げたりし、邪悪な言葉を語り、嘘をつき、大きな欺瞞を行い、自分たちの言葉に関する書物を書くということです。
11. しかし、彼らがわたしの言葉を彼らの言語ですべて真実に書き留め、わたしの言葉を変えたり、減らしたりせず、わたしが彼らについて最初に証言したすべてを真実に書き留めるならば、
12. それから、私はもう一つの奥義を知っています。それは、義人や賢い人々には喜びと公正と多くの知恵の源となる書物が与えられるということです。
13. そして彼らには書物が与えられ、彼らはそれを信じ、それについて喜ぶであろう。そしてそれからすべての正しい道を学んだすべての正しい人々は報いを受けるであろう。』

第 105 章

1. そのころ、主は彼らに、地の子らを呼び集めて、彼らの知恵について証言するように命じられた。

「彼らにそれを示しなさい。あなたたちは彼らの導き手であり、全地に対する報いであるから。」
2. わたしとわたしの子は、彼らの人生において、永遠に正しい道において彼らと一つになる。そしてあなたたちは平和を得る。正しい子らよ、喜びなさい。アーメン。

第 106 章

1. それから数日後、私の息子メトセラは彼の息子レメクに妻を迎えた。彼女はレメクによって身ごもり、男の子を産んだ。
2. 彼の体は雪のように白く、バラの花のように赤く、頭髪と長い髪は羊毛のように白く、目は美しかった。彼が目を開けると、家全体が太陽のように明るくなり、家全体が非常に明るくなった。
3. すると彼は助産婦の手の中で立ち上がり、口を開いて正義の主と語り合った。
4. 父レメクは彼を恐れて逃げ、父メトセラのもとへ来た。
5. そして彼は言った。「私は特別な息子をもうけた。それは人間とは違っており、天の神の子たちに似ている。その子の性質は異なり、私たちのようではなく、その目は太陽の光線のようであり、その顔は輝かしい。」
6. そして私には、彼は私から生まれたのではなく、天使たちから生まれたように思われます。そして、彼の時代には、地上に奇跡が起こるのではないかと恐れています。
7. そして今、父上よ、私はここに来てあなたに懇願し、私たちの父であるエノクのもとへ行き、彼から真実を学ぶよう懇願します。エノクの住まいは天使たちの中にあるからです。」
8. メトシェラは息子の言葉を聞いて、地の果てまで私のところに来ました。私がそこにいると聞いていたので、彼は大声で叫びました。私はその声を聞いて、彼のところへ行きました。そして私は彼に言いました。「息子よ、ここにいます。なぜ私のところに来たのですか？」
9. そこで彼は答えて言った。「私は大きな不安のためにあなたのところに来ました。不安な幻を見たので近づいて来たのです。
10. 父よ、今、私の言うことを聞いてください。私の息子レメクに、他に類のない息子が生まれました。その性質は人間の性質とは異なり、その体の色は雪よりも白く、バラの花よりも赤く、頭髪は白い羊毛よりも白く、その目は太陽の光線のようで、目を開けると家全体を明るく照らしました。
11. そして彼は助産婦の手の中で立ち上がり、口を開いて天の神を祝福した。
12. そして、彼の父レメクは恐れて私のところに逃げてきました。彼は、彼がアブラハムから生まれたのではなく、天使のような姿をしているのだと信じていました。そこで、私はあなたに真実を知らせるために来ました。」
13. そして私、エノクは彼に答えて言った。「主は地上で新しいことをなさるであろう。私はすでにこのことを幻で見た。そしてあなたに知らせるが、私の父ヤレドの世代に、天の天使たちのうちのある者が主の言葉に背いた。
14. 見よ、彼らは罪を犯し、律法を破り、女と交わり、女と罪を犯し、そのうちの何人かを妻として迎え、女たちによって子供をもうけた。
15. そして彼らは地上に霊ではなく肉に従った巨人を生み出し、地上には大いなる懲罰が下り、地上はあらゆる汚れから清められるであろう。
16. まことに、全地に大いなる破壊が起こり、一年の間、大洪水と大いなる破壊が起こります。
17. そして、あなたに生まれたこの息子は地上に残され、その三人の子供たちも彼と共に救われるであろう。地上の人類が全て死ぬとき、彼とその息子たちは救われるであろう。
18. そして今、あなたの息子レメクに、生まれた者は本当にあなたの息子であると知らせ、その名をノアと名付けなさい。彼はあなたの手に残り、彼とその息子たちは、彼の時代に地上で完結するすべての罪とすべての不義のために地上に起こる破滅から救われるでしょう。
19. そしてその後には、地上で最初に成就したものよりもさらに多くの不義があるであろう。なぜなら、私は聖なる者たちの奥義を知っているからである。主なる神が私に示し、私に知らせてくださったからであり、私はそれらを天の板で読んだからである。

第 107 章

1. そして、わたしはそれらの上に、世代から世代へと罪が犯され、やがて義の世代が起こり、罪は滅ぼされ、罪は地から消え去り、あらゆる善が地上にもたらされると書かれているのを見た。
2. それで今、息子よ、あなたの息子レメクのところへ行って、この生まれた子が本当に彼の息子であり、これは偽りではないことを知らせなさい。」
3. メトセラは父エノクの言葉を聞いたとき——父は彼にすべてを秘密にしていた——彼は戻ってそれを父に見せ、その息子をノアと名付けた。彼はすべての破壊の後に地球を慰める者となるからである。

第 108 章

1. エノクが息子メトセラと、彼の後を継いで終わりの日に律法を守る人々のために書いたもう一つの書。
2. 善を行なったあなた方は、悪を行う者たちが終わり、罪人たちの力が終わるまで、それらの日を待ちます。
3. そして、罪が消え去るまで、あなた方は待ち続けなさい。彼らの名前は生命の書と聖書から消し去ら

れ、彼らの子孫は永遠に滅ぼされ、彼らの霊は殺され、彼らは混沌とした荒野のような場所で泣き叫び、火で焼かれるであろう。そこには地はないからである。

4. そして、私はそこに、目に見えない雲のようなものを見た。その深さのせいで、私は見渡すことができなかったが、私は、明るく燃える火の炎と、輝く山のようなものが回転し、あちこちに揺れ動いているのを見た。

5. そして、私と一緒にいた聖なる天使の一人に、私はこう尋ねました。「この光るものは何ですか？それは天国ではなく、燃え盛る火の炎と、泣き声と叫び声と嘆き声と激しい苦痛の声に過ぎません。」

6. そして彼は私に言った。「あなたが見ているこの場所には、罪人や冒涜者、悪事を働く者、そして主が預言者の口を通して語られたすべてのこと、すなわち将来起こるであろうことを曲げる者の霊が投げ込まれている。

7. それらのいくつかは、天使たちがそれを読み、罪人たちと謙遜な人々の霊と、自分の体を苦しめて神から報いを受けた人々と、邪悪な人々によって辱められた人々に何が起こるかを知るために、天に書き記されている。

8. 彼らは神を愛し、金や銀などこの世にあるどんな良いものも愛さず、かえって自分の体を拷問に引き渡したのです。

9. 彼らは、この世に生まれたときから、地上の食物を欲せず、すべてを過ぎゆく息吹とみなし、それに従って生きた。主は彼らを大いに試し、彼らの霊は清く、主の名を祝福するに至った。

10. 彼らに与えられたすべての祝福を、わたしは書物の中で詳述した。そして、神は彼らに報いを与えた。彼らは、この世での命よりも天を愛した者と認められ、邪悪な者たちに踏みにじられ、彼らから罵倒と悪口を浴びせられ、恥辱を受けたにもかかわらず、わたしを祝福したからである。

11. そして今、私は光の世代に属する善良な人々の霊を召喚し、暗闇の中で生まれ、肉体においてはその忠実さに見合うだけの名誉を与えられなかった人々を変革します。

12. そして私は、私の聖なる名を愛した者たちを輝く光の中に連れ出し、それぞれを名誉の王座に座らせる。

13. そして彼らは数え切れないほど長く光り輝くであろう。正義は神の裁きであるからである。神は忠実な者たちに、正しい道に住む忠実さを与えるからである。

14. そして彼らは、暗闇の中に生まれた者たちが暗闇に導かれ、一方で義人たちが光り輝くのを見るであろう。

15. そして罪人たちは大声で叫び、彼らが輝いているのを見て、彼らは確かに日と季節が彼らのために定められた場所へ行くであろう。」